

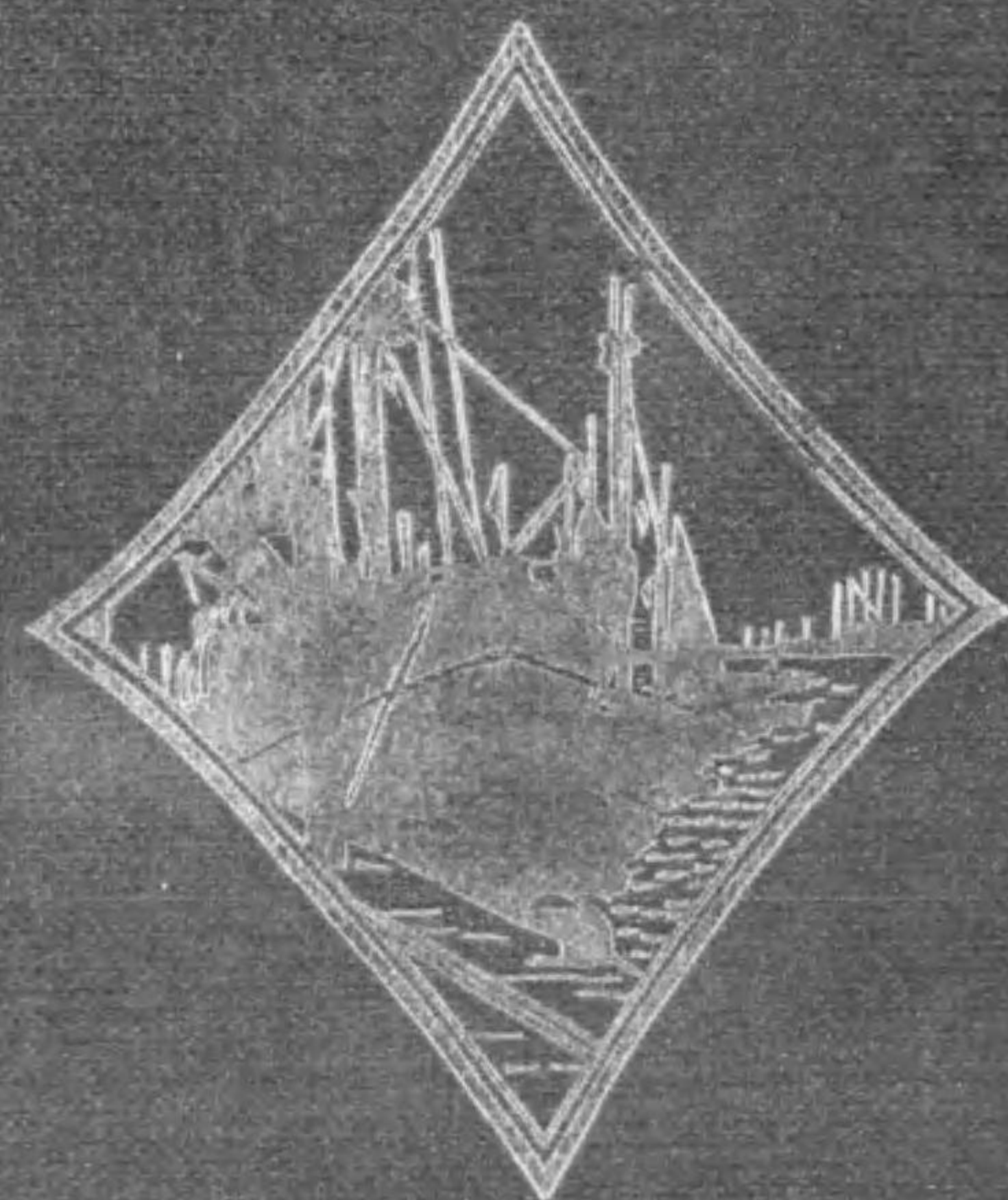
始



323

649

神戶市民讀本



神戶市役所編



神戸

市民讀本

神戸市役所編

大正  
14. 9. 29  
内交

323-649

凡 例

一本書の編纂は大正十一年十月市長代理助役永田龜作氏が學制頒布五十年記念事業の一つとして市民讀本の刊行を企て、追加豫算を以てこれが經費を市會に要求してその決議を経たことにもとづくのである。

二同年十月三十日懸賞を以て廣く原稿を募集することとなり、その内容及び程度に關する條件を左の如く規定し、かつ本市の要望する讀本資料につき詳細な綱目を定め、參考として應募者に示すこととした。

内 容

一立憲ノ大義自治ノ本義ヲ闡明シ之ガ精神涵養ニ資スル

凡 例

一

凡 例

二

ニ足ルモノタルコト

一 市政ノ現状ヲ明ニシ之ガ嚮フ所ヲ示スニ足ルモノタルコト

一 現代文化ノ本質ヲ明ニシ之ガ歸趨ヲ窺フニ足ルモノタルコト

一 市民ノ愛讀書タル興趣ニ富ムモノタルコト  
程 度

一 尋常小學校卒業者ノ讀ミウル程度ノモノタルコト

三 締切までに得た應募原稿は二十五篇に達した。よつて直に審査員を囑託してこれが審査に着手した。その方法は最初に第一次の審査員に於て豫選を行ひ、その中から六篇を選定し、更にその六篇について左記五氏が第二次の審査に従事せ

られた。

第二次審査員

京都帝國大學教授 文學博士 新村 出

同 同 小西重直

同 同 法學博士 河田嗣郎

同 同 文學博士 石橋五郎

同 同 同 藤井健次郎

前後二回の慎重嚴密な審査の結果、第一等に該當すべきものなしと認められたが、第二等神戸市東須磨小學校訓導三木修一、第三等神戸市立神戸商業實修學校長大山綱志、神戸市神戸小學校訓導勇内信次應募の三篇を以て當選とし、それら既定の金賞を贈呈した。

凡 例

三

四 第二等當選の應募原稿を以て市民讀本の稿本と決定し各審査員のこれに對する詳密な批評と、またその後に於ける本市并に一般社會に於ける事態の變遷とに鑑み、三木氏をしてその稿本に對して大修正を加へしめ、更に第三等當選者の稿文その他から數篇を新に加へることとした。

かくて一たん全部の修正を終つた資料につき、成るべくその程度を平易にしかつ市民の愛讀書たるべき興趣に富ましめんがため、文學士高橋俊乘氏に託してその文辭文章の添削修飾を行ひ、中には稿文の要旨を失はない限り全文を書直したるものも少くなかつた。三木氏自身に於ても同様の目的から書直したものが多かつた。

これに次いで挿畫の選定、編纂の體裁等諸般の整理をなし、稿

本を淨寫すること三回の後、本年五月全くその業を卒へることが出來た。

五 終りに前記諸氏の外に本書の挿圖その他につき、本市都市計畫部、水道課及び教育課吏員諸氏の助力を得たことも多かつたから、特にここに明記して置く。

大正十四年七月

本書編纂主幹 本庄 太一郎

# 神戸市民讀本

## 目次

### 地理と歴史

|          |    |
|----------|----|
| 一 新日本    | 一  |
| 二 若き神戸市  | 六  |
| 三 神戸市の發達 | 九  |
| 四 神戸市の地理 | 一五 |
| 五 富源の港   | 一八 |
| 六 海洋氣象臺  | 二〇 |
| 七 生田の森   | 二五 |

目次

八 平相國の事蹟……………二九

九 須磨の曲……………三三

一〇 楠公の最期……………三六

一一 神田兵右衛門翁……………四三

一二 湊川の改修……………五〇

自治制

一三 國體の精華……………五五

一四 立憲政治……………六〇

一五 自治の精神……………六五

一六 市住民と市公民……………七〇

一七 市會議員……………七三

一八 市會と市參事會……………七七

一九 市の吏員……………八三

二〇 市の監督と特別市制……………八五

二一 清き一票……………八八

都市問題

二二 近代都市の發展……………九五

二三 都會と田舎……………一〇〇

二四 田園都市……………一〇四

二五 神戸市の都市計畫……………一〇七

市勢の現況

二六 工業……………一二三

二七 教育……………一二九

二八 青年團と處女會……………一三〇



二九 神戸市聯合青年團歌……………一三四

三〇 社會事業……………一三五

三一 衛生的施設……………一四一

三二 市營事業……………一四七

三三 交通機關……………一五二

三四 財 政……………一五五

三五 神戸港の現状……………一五九

三六 貿易と商業……………一六四

市民の修養

三七 眞の文化生活……………一七二

三八 剛健質實の氣風……………一七六

三九 市民標語……………一八二

四〇 協同一致の精神……………一八四

四一 對外關係と市民……………一八七

四二 兄弟の心……………一九一

四三 愛 の 歌……………一九七

四四 人生のオアシス……………一九八

四五 近代思潮……………二〇二

四六 神戸市を愛せよ……………二〇五

# 神戸市民讀本

神戸市編纂

## 地理と歴史

### 一、新日本



新日本の誕生

沈黙の夜の暗が次第に消失せて、東の水平線のあたりがだんだん淡赤く染められる。やがて紫色の横雲のさけ目が眞紅に燃えたかと思ふと、忽ち金色の光まばゆい太陽は、燦爛たる活動の光を全世界に投げた。今まで眠つてゐた山も河も陸も海も、

新日本

一様に若々しい元氣と、活動の精神とに満ちあふれて來た。鳥獸も草木も、はた天地間のあらゆる物が新しく生れ出たかの如く、一齊さいに立つて、おのがじし右に左に働き始めた。

日本は古い國である。建國以來三千年の長い歴史と傳統を持つてゐる。しかし又新しい國である。明治維新以來、新しい生命に蘇生して、古い歴史には元氣と活氣とに満ちた新しい血潮が漲り、世界中の人を驚かせるほどの大活動をなした。それはちやうど我が國名に恥ぢず、昇る朝日の盛んなる勢にたとへることが出來た。

凡そ事の成るのは、成るの日に俄に成るものではない。必ず成るまでの長い間に苦心の由來があるはずである。我が國維新以來の大發展は、全く三千年來のりつばな歴史にもとづく、美

我が國最近發達の  
原因

我が國最近發達の  
歴史

しい國體によつて出來たのであつた。申すもかしこきことながら、代々の天皇は臣民を赤子の如く愛撫あひなしたまひ、臣民は天皇を御親のやうにお慕たひ申して、忠君愛國の道を勵んで來た。されば我が國運は年々に發展し、文化は常に進歩して來た。その歴史は不斷の改善の歴史であつた。

從來は東洋の一隅にとちこもつてゐたから、その實力も十分に發揮されなかつたが、たま／＼維新前から西洋諸國と交るやうになり、今までの鎖國日本が國際日本となつた爲、夜の眠から眼がさめて起上つた如く、急に花々しい活動をなしとげることが出來たのであつた。しかし日清戦役の頃までは、我が國を知らない西洋人の中には、我が國を支那の一部のやうに思つてゐる者もあつて、日清戦役が起るや、獨立戦争が始つたのかと間違

へたり、「支那の如き大國と戦ふやうな身のほごを知らない日本は、今に大敗するだらう。」と斷言した者も少くなかつた。北清事變の頃から、我が國は東洋の外交界の中心となり、日露戦役後は一躍して世界の一等國の仲間にはいり、今や世界大戦役の後をうけて、世界の平和を支持すべき國際聯盟の主たる聯盟國となり、列國間に重要な役目を帯びるやうになつた。もとは白人人種でなければ、人でないやうに思つてゐた歐米諸國も、今では我が國と協力しなくては、世界の重要な問題を解くことが出来ないやうになつたのである。

我々國民たるものは、この國この時に生を受けた光榮と幸福とを忘れることなく、永く我が國の前途を多幸多福ならしめ、世界の進運に遅れないやうに努力しなければならぬ。得たもの

は失ひやすく、榮えたものは衰へやすい。我々は努めて、我が國の歴史に傷のつかないやうにしたいものである。

先にパリ、ワシントンの兩會議で結ばれた多くの條約の主旨は、列國がお互に一致協同して、全人類の幸福を増進しようとしたものであつて、世界の平和の維持に、大なる貢獻をしたものであつた。今日は全人類が平和主義、人道主義を本として相愛協同の文明を建設しようとしてゐる時代である。されば我々日本人も、この新時代に應ずる爲に、内は益々忠君愛國の道を勵み富強なる文化國家を築き上げると共に、外は列國とよく交り四海同胞が太平和樂を味はひうるやうに努めたならば、我が國の將來は磐石の如く安全となるであらう。

かくてこそ祖先の遺風はいよゝ顯彰され、新日本の使命は

確實に成し遂げられるにちがひない。

### 二、若き神戸市

嘉永五年、相摸の浦賀に響いた砲聲によつて、我が日本は鎖國の長い夢から覺め、門戸を開いて諸外國と交るやうになつた頃、我が神戸はまだ淋しい一の漁村であつた。舊い日本が西洋の文物を輸入して新しい血液をわき立たせた時から、我が神戸が生ひ立ち始めたのである。

もつとも今の神戸市の一部となつてゐる兵庫は、永い歴史を持ち、いつも海内有數の港であつた。しかしそれにしても、今日八十萬の人口を有し、年々一千萬噸の貨物を出し入れするやうな繁華を、昔は誰一人として豫想しなかつたに違ひない。我が

開港の神戸

神戸市史附圖による



若き神戸市

神戸市は實に僅か五十年の間に發達した極めて新しい都市である。京都やロンドンのやうに古い都市ではなく、横濱やシカゴのやうな若い都會である。新しいものゝ有する特色は、第一にあふれるばかりの元氣と希望と、さうして洋々たる前途を持つてゐることである。内には常に伸びんとする力が充實し、外には活々とした清新さがみなぎつてゐることである。第二に、古いものには往々存する悪習や因襲が、新しいものには少いことである。情實や因縁のつるが

からみついてゐないから、拘束されることが少く、思ひ切つた自由な活動をなしうることである。もとより古いものには、永い間苦心して築き上げた美しい組織や整頓があり、秩序がついてゐる上に、しんみりとした落ち着きがある。上品な時代のさびがあり、また威厳や貫目が備つてゐる。かゝる古いものの特色は、新しいものには殆どない。新しいものには秩序整頓が乏しく、組織がかたまらず、落ち着きがなく、不安定なことが多い。しかし又古いものが、往々にして繁榮の絶頂に立ち、或は下り坂になり、進取活潑な氣象に乏しいのに比べると、新しいものは努力しさをすれば、そこに多望な將來が開けてくるのであるから、比較して見ると我々はむしろ新しいものに味方せざるをえないのである。

若き神戸市

我が神戸市も若い都市であるから、整はない點や、不揃なことが少くない。けれども活々した元氣に富み、市民に保守消極な氣風が少く、潑刺たる若々しさに満ちてゐるから、市民が常に向上の一路をたどり、改善の努力を續けたならば、將來多幸なる運命を開いて行けることは疑がない。

### 三、神戸市の發達

ローマの大都は一日に出来なかつた。それと同様に、今日四方里の廣さと八十萬の人口を持つてゐる神戸市も、また可なり長い發達の歴史を持つてゐる。

今日神戸市の中にはいつてゐる兵庫は、大昔務古の水門と呼ばれ、その後大輪田の泊と言はれて、早くから開けた港であつた。

上古の兵庫

神功皇后が三韓を征伐して凱旋遊ばされた時にも、その海軍はこの港に歸着したと傳へられてゐる。三韓の貢船が種々の寶物を山と積んで入朝した時も、この港に錨をおろしたものである。

## 兵庫の築港

三韓の貢が絶えてからも、この港は瀬戸内海水運の上にする重要な港であつたため、播州の室の津から、淀川の口までに、行基菩薩が置いたと傳へられる五泊の一つにも數へられ、その修築も歴代たび／＼行はれた。

この港は西風が烈しく吹いても、和田岬のために安全であるが、東風や南風が吹くと、海が荒れて高い浪が立騒ぎ、船頭は心靜かに船をとめることが出来ない。平安時代の末に、平清盛が福原に別莊を構へたとき、支那の貿易船をここに引附けるために、

この港の大修築を企て、經が島を築いて東風南風を防がうとした。然るにその實行にかゝつてから、間もなく源平の合戦が起り、築港どころではなかつたらしく、その中に清盛は薨去して、事業は半途で中止されたが、その後東大寺の重源上人が志をつぎ、諸人を指揮督勵して遂に成功させた。そのため東大寺は永く兵庫の關を支配して、往來の船から、港を修築するための石材と、關所の通行税をとることを許されてゐた。

## 福原京

清盛はこの地を非常に重く視てゐたから、港を築いたばかりでなく、帝都をもこゝに遷した。世に福原の京といふ。その廣さは、今の太倉山會下山の間の山地を中心に、東は三の宮に達し、西は西代の邊まで延びてゐた。山紫水明の京都に住みなれた大宮人は、親しみ深い土地を離れることをいみきらつて、盛んに

遷都に反対したので、都はすぐに京都へ戻されたから、福原の繁榮は芽をふいたまゝで萎れてしまった。

近世の兵庫  
平氏の公達は藤原氏の榮華を學んで武士の面目を失ひ、かつあまり我がまゝを極めたから、久しからずして西海の波間に没落した。その後、福原は藤原氏の領地となつて、少しづつ發達したが、足利時代になつて藤原氏はその氏寺興福寺へこの莊を寄進した。豊臣秀吉が大阪に日本一の堅城を築いて天下に號令するや、兵庫は四國・九州から大阪に至る要港として、船の出入が殊に繁く、帆柱は林の如く立並ぶやうになつた。江戸時代には兵庫は幕府の直轄地であつて、年々に繁榮を加へ、天明の頃には人口がざつと二萬町の數は四十四もあつたさうである。それは主として米穀や肥料の取引をする關西屈指の市場となつた

からである。

## 神戸の歴史

ところが今日神戸市の中心を形づくつてゐる神戸は、維新前までは、中國街道に沿うた小さな村で、神戸・走水・二つ茶屋の三村を合併しても戸數は千にも足りなかつた。慶應三年十二月兵庫が開かれた時、外國人の居留地が神戸に設けられてから俄に賑ふやうになつたので、明治元年十一月に神戸町と改め、その港を神戸港と稱することゝなつた。

その後の發達はすこぶる目ざましく、雪だるまをころがすやうに、暫くの間に大きくなつた。明治十一年郡區町村編制法が定められたので、それによつて翌年兵庫及び阪本村を合併して神戸區となし、區役所を神戸北長狹通四丁目に置いた。更に明治二十一年には、市町村制が發布されたから、それに本づいて、翌



開港記念日

年四月から、元菟原郡葺合村と、元八部郡荒田村とを神戸區に合併して市制を布き、市役所を東川崎町に置いて六月二十一日から開港した。

河は流れるにつれて河幅が次第に廣くなる如く、神戸市もその後いよ／＼大きくなつた。明治二十九年四月には湊村・林田村・池田村を、大正九年四月には須磨を併合して、すばらしい發展ぶりを示した。その昔漁網を引くばかりであつた海面には、今や大船巨舶が何隻となく浮び、わづかに藁ぶきの農家が點在してゐた田園には、石や鐵筋コンクリートの大建築が軒を列ね、陸も海もおしなべて賑ひの巷となつた。昔の寒村が半世紀の間に、本邦第一の港に發達したのは、思へば夢のやうな大發達であつた。

#### 四、神戸市の地理

先月父が商用で神戸へ参りました時、ひま／＼に市の内外をあちらこちら見物しましたさうで、歸りましてから色々神戸市の話をしてもらひました。

神戸市は御承知の通り、兵庫縣下にあつて、攝津の國の西南端に、東西約三里、南北も約三里、面積約四方里にひろがつてゐる都會であります。

市の後には六甲山脈が東北から西南の方向に走つてゐて、鷹取鍋蓋再度摩耶等の山々が屏風を立てたやうに、市をかこんでゐます。何しろ海岸近くに山脈が走つてゐるものですから、海岸に沿うて、細長い平野があるばかりで、その他の大部分は、西北

東西三里  
南北二里  
間十八間  
全面積  
九七七二  
方里  
地勢

の山地に向つて、次第に高くなり、市の背面は一體に見晴らしのよい高臺になつてゐます。大倉山や宇治野山などは、平地と高臺とを連絡してゐる丘で、湊山・平野山・諏訪山・北野山・布引山等は、その一そう高くなつたものだと、父が地圖を見せながら教へてくれました。

こんな地勢ですから、河はどれも皆短かい急流であつて、生田川や宇治川や湊川でも二三里ぐらゐしかありません。従つて上流が市の上水道の水源となるほかには、別に利用の途も無いさうです。

## 氣候

後は山前は海ですから、氣候は大そう温和であります。年中平均温度が攝氏十五度、夏の暑い盛りでも三十四五度が頂上で、冬も雪を見ることはごく稀であります。風は多く北西か北東

## 區分人口

の方から吹きます。冬季は時として烈しい風が吹くこともありますが、屏風がはりの六甲山脈があるから、港の船は安心なものです。雨は日本中でも少い方で、父の滞在中も雨傘の入用なことは無かつたと申して居りました。

地圖を見ますと、全市が神戸・湊東・湊西・湊合・林田・須磨の七區に分れてゐます。戸數は大正十三年の末に十七萬五千戸、人口は七十九萬九千ほどありました。それを前年に比べますと、戸數が五千六百、人口が二萬六千ほど増してゐますから、一年の中に私どもの往んでゐる町が一つ新しく出來たやうなもので、私は父の話聞きながら大そう驚きました。

### 五、富源の港

神戸の生命はその港であります。ついでに神戸の港について、父から聞いたお話を致しませう。

海國日本

今更言ふまでもなく、日本の國は四方に海をめぐらした國でありますから、外國との交通は全く船でなければできません。

神戸の位置

神戸の位置は我が國のほぼ中央に位し、瀬戸内海の東の端に近く、大阪灣の西の端に臨んでゐますから、日本に來る外國船舶には大へん便利な港であります。殊に我が國商工業の都である大阪や學問美術の都である京都と相接近して、關西文化の中心を形づくり、東は東海、東山、北陸の諸縣、西は中國、四國、九州の諸地方と、自由自在な取引が出来るのですから、この港を貿易場に選

神戸港の特長

神戸の築港

神戸港第一期工事竣工  
明治三年三月十日  
治起工一竣  
正年一工一竣  
五月十竣  
した

定されたのも尤もなことです。その上、この港は陸地深く灣入し、港の面積が廣く、水深は四十尺もありますから、大船を幾らでも碇泊させることが出来ますし、背後の連山が北風を防いでくれますから、船員は心靜かに碇を下すことが出来ます。その上、今日では鐵道や電車や内外航路の設備が蜘蛛の巢のやうに發達して、乗客の往來も、荷物の運送も、すこぶる便利となりました。これらの特長がある上に、更に近來神戸市は政府との共同負擔で、十六年の歲月と二千有餘萬圓の經費を使つて、海面と陸上に種々の設備を施しました。天然の良港が更に人工の設備を加へたのですから、それこそ鬼に金棒で、神戸港の將來はいよいよ多望となつて參りました。

もつとも、もう一そうつつこんで考へて見ると、如何に良港が

我が國維  
新以來の  
發達と神  
戸

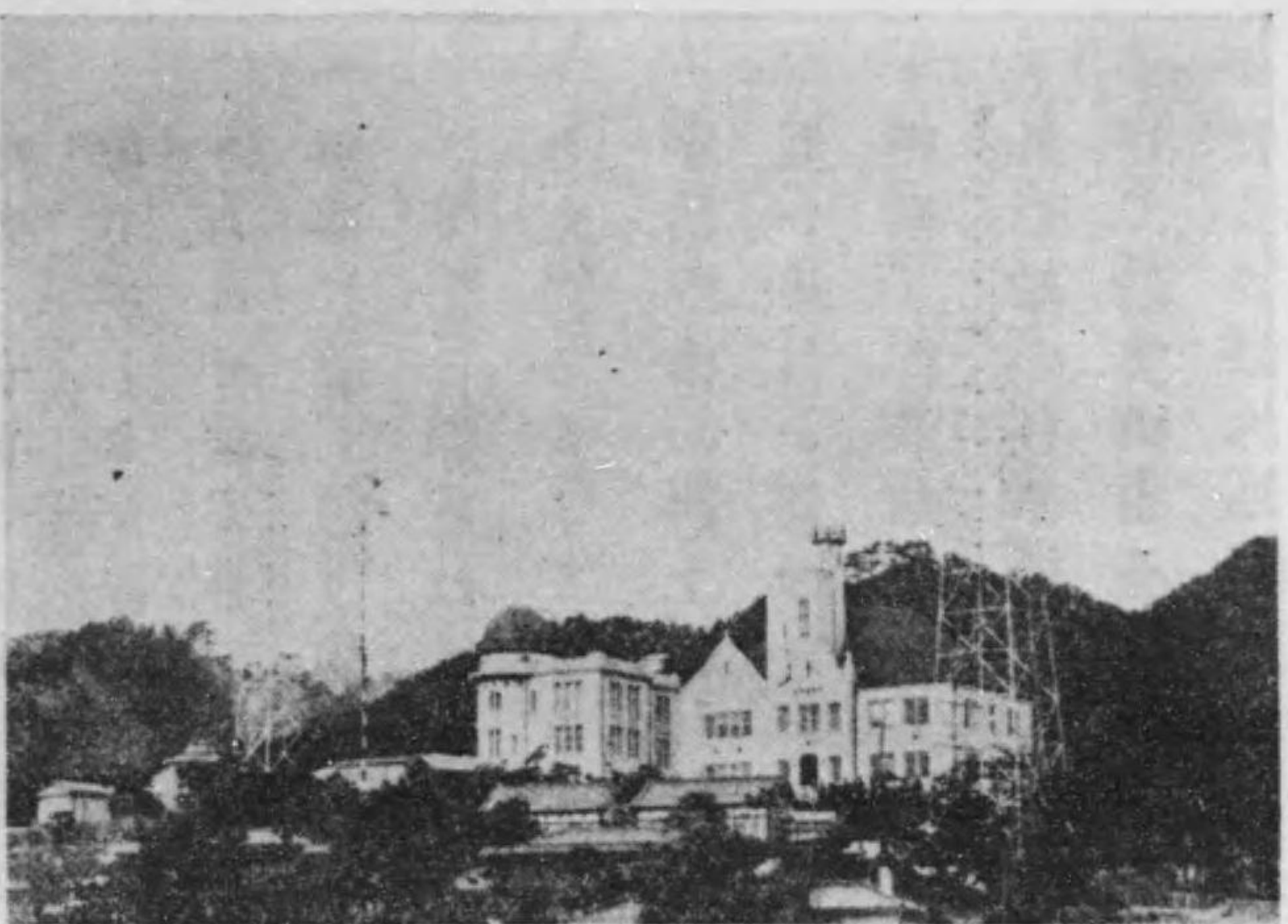
あつても、我が國維新以來の國運の發展中にも商工業の發達がなかつたら、神戸も昔のまゝの漁村として續いてゐたことでは、ところどころが商工業が未曾有の大發展をしたについては、適當な貿易場が必要になり、誰もかれも期せずして神戸を利用するやうになつたからこそ、今日の盛大を見るやうになつたのです。大阪を日本の大きい臺所としたら、神戸はその勝手口です。今日まで神戸は勝手口としての役目をりつぱに果して來ました。この後、神戸のなすべき最も大切な事は、一そう港を完全にして、益々その機能を發揮するやうに努めることだらうと、父が申しをりました。

## 六、海洋氣象臺

海洋氣象  
臺建設の  
由來

拜啓 やうやう花の盛りも過ぎて若葉の蔭に殘花二三輪さびしきが眼に止る頃と相成り候。御一同様御打ちそろはせ御安泰の由何より御めでたく存じ候。當方皆無事に暮し居り候間、憚りながら御安心下されたく候。さて先日御尋ねに相成り候神戸の海洋氣象臺につき、聞きえたることどもあらく、お答へ申上候。本氣象臺は宇治野山の頂上、緑したゝる松林中に建てられ、赤い屋根、圓い塔、白い壁のいかにも清新なる感じを催す洋館に御座候。御承知の如く、神戸港は海内屈指の開港場にて、内外船舶の往來頗る多きこと故、この地に海洋氣象臺を設けて、航海の安全を圖ることは、官民ともに久しく希望したるところに御座候。殊に世界大戰に伴なうて、我が海

海洋氣象臺



運業が未曾有の大發展をこ  
げてより、右設立の必要が一  
そう切實に感ぜらるゝこと  
と相成り候間、大正七年の春、  
縣知事清野長太郎氏が政府  
の意を承け、當市の海運業者  
數氏と會合して右建設の事  
を相談致し候處、皆大賛成に  
て氣象臺及び附屬建物等全  
部を海運業者より政府に寄  
附する事を快諾し、すぐさま  
建設委員を選び、大正八年四

海洋氣象  
臺の仕事

月より工事に着手し、翌年四月落成したるものに御座候。  
然るにその計畫中に無線電信の設備なかりしたため、せつ  
かくの氣象臺も十分の利用なしがたきを遺憾とし、政府  
は更に阪神地方有志の助力を求めて、大正十一年十一月  
遂に無電工事をも整備する事と相成り候。

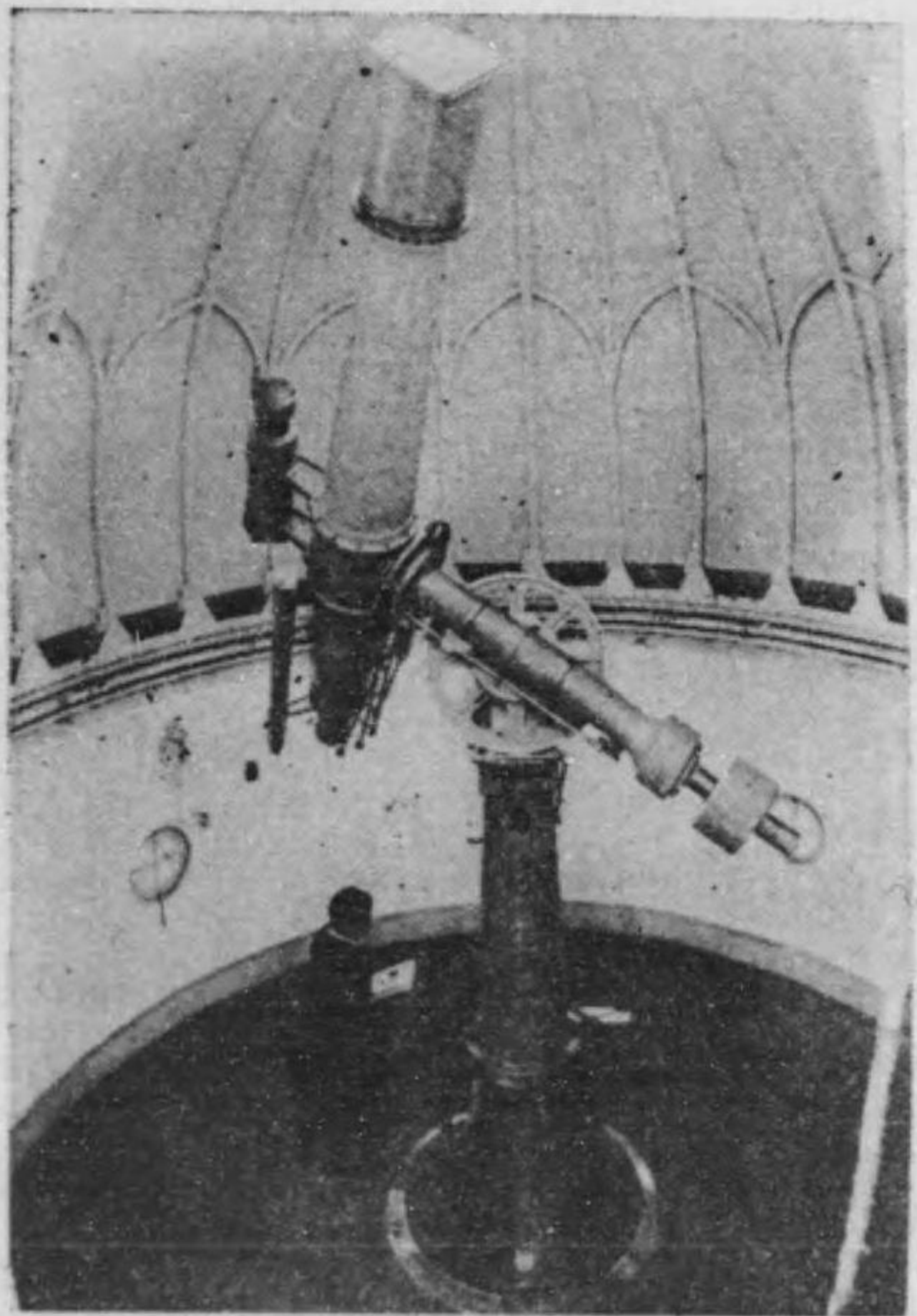
當氣象臺の主なる仕事は

- 一、海洋氣象と地球磁力との觀測及び調査、並びにこれが爲に必要なる天體現象の觀測
- 二、海流・潮汐その他海洋の物理的現象の觀測及び調査
- 三、天氣圖及び磁力偏角圖の發行
- 四、氣象器械及び時辰儀・時計・羅針盤その他航海測器の研究調査・檢定

海洋氣象臺

五、海洋航行中の船舶に對する暴風雨警戒等に御座候。

凡そ氣象の研究は深遠なる學理と精巧なる機械と熟練



赤道儀  
式望遠  
鏡

海洋氣象  
臺の責任  
と設備

なる技術との三者  
相待つて、始めて成  
功を見うることは  
言ふまでもなく、然  
らざれば、その研究  
の結果も信頼する  
に足らざるものと  
なりはつべく、殊に  
本臺の如きは、その發する報告によつて幾多の海運業者  
がその進退を決するものに候故、もし報告にして誤あら

日本の誇

ば、その結果は實に容易ならぬことと相成り申すべく候。  
されば本臺に設備せる機械類はいづれも極めて精巧な  
るもののみにて、かほごまでに設備の完備せる海洋氣象  
臺は、ドイツのハンブルク港以外には世界に一箇所もな  
しこのことに御座候。

まことに本氣象臺は我が神戸市の誇たるのみならず、我  
が國の誇とも存せられ候。右概略御知らせ申しあげ候。

早々敬具

七、生田の森

生田の森

藤原 家隆

昨日だに訪はんと思ひし津の國の

生田の森

生田の森に秋は來にけり

布引の瀧

賀茂 眞淵

布引の瀧のたぎつ瀨音にきく

山のいはほを今日見つるかも

湊川懐古

高崎 正風

湊川ちりてながれし橋たかはなの

今もかをりて啼なくほとゝぎす

神戸港

石榑いし 千亦

黒き煙灰色の煙白き煙

碇泊船にからみなびけり

和田の岬

與謝野晶子

泣くは誰れ和田の岬の見ゆるとて

満船の人ごよむ中にて

須磨の關

源 兼昌

淡路しま通ふ千鳥の鳴く聲に

いく夜ねざめぬ須磨の關守

須磨寺

川田 順

須磨寺は櫻紅葉に人見えて

生田の森

小春の海の遠ひ々きかな

武庫離宮

武内由幾子

ほのかにも離宮のいらか輝けり

月見山に白う薄月かゝり

□

梅が香もそふや生田の森の雨

蕪村

見渡せば眺むれば見れば須磨の秋

芭蕉

蝸牛角ふりわけよ須磨明石

芭蕉

須磨の山うしろに何をかんこ鳥

其角

菜の花や摩耶を下れば日のくるゝ

蕪村

鐵拐の噴き出したる羽蟻かな

子規

汽車に寝て須磨の風引く夜寒哉

子規

八、平相國の事蹟

我が兵庫神戸の發展の歴史と、切つても切れない關係を持つた歴史上の大人物はと言へば、誰でも先づ指を平清盛に屈するであらう。彼は太政大臣に任せられたから、太政大臣の唐名相國を用ひて、世に平相國と呼ばれてゐる。

平相國が後白河法皇を鳥羽殿に押し込め奉つたことは、臣民としていかにも言語道斷な次第であつて、その罪は非常に重いものである。しかし相國の他の行について考へてみると、世を益し民を利したことも少くないのであつて、彼が時流を超越した一大偉人であつたことが容易に看取されるのである。

平相國の非凡



大輪田の  
修築

その最も良い例は、私力を以つて經が島を築いたことである。彼は夙に太宰大貳となつて、博多港に於ける外國貿易の状況を



平清盛  
京都市  
六波羅  
密寺所  
藏

のであつて、彼が兵庫港を修築し、經が島を築いたのは、この目的

熟知してゐたから、貿易は非常に利益のあることを知つてゐた。されば彼は自ら勢力を振ふことが出来るやうになつてから、支那との交通を盛んにし、貿易を奨励し、支那の文化を輸入することに力を盡くした

を達するためには他ならなかつたのである。

福原遷都

福原遷都もまた平相國の剛毅果斷であつたことを語るものである。治承四年五月、源頼政が以仁王を奉じて兵をあげ、大津の三井寺や奈良の興福寺などがこれに應じた。この亂はすぐ平いただけれども、清盛はこれら諸大寺が、公卿等と力を合せて己れに反抗することを恐れた。これを避ける爲には、どうしても都を遷すより他に方法がなかつた。そこで彼は勅許を得、翌月二日大英斷を以て遷都を執行し、主上法皇上皇のお伴を申して福原へ下つたのであつた。

しかし舊都に馴れた公卿や、京都奈良の諸大寺は、しきりに遷都に反對したので、清盛はやむなく、その意見をひるがへし、同年十一月主上法皇上皇は福原の新都から舊都へ還御遊ばされた。

その後平相國は僅かに四箇月で薨去した。

平相國の不忠不義な點はごこまでも鼓を鳴らして責めなければならぬ。しかし、彼が先見の明に富み、勇斷進取にしてあくまでも、積極的に物事をやり通すといふ點については、大いに吾人の學ばなければならぬ處である。何と言つても平相國は我が神戸市の發展の歴史と切離すことの出来ない大人物であつた。

平相國に  
學ぶべき  
點

### 九、須磨の曲

雷電霹靂天地を震動して、  
鵜越よりなだれ落つる源氏の兵。

平家が金城鐵壁と頼みたる一の谷も、  
あはれ土崩瓦解。

浪立ち騒ぐ須磨の浦、  
ゆられゆられて散り行く船に、  
乗り後れたる武者一騎、  
駒を波間に打ち入れて、  
彼方へ急ぐ後より、  
おーい〜、歸させ給へや、  
武藏の國の住人熊谷次郎直實見參せん。  
おーい〜。

聲に應じて乗りもどすを、  
汀みぎはに待受け、むんすと組んで、  
兩馬の間にどつと落つれば、  
ぱつと飛散る白浪の花。  
かつし〜とすれ合ふ草摺くさすり。

熊谷敵を組敷きて、  
首かき切らんと見つむれば、  
まだうら若き上臈じやうらふの、  
齡よはひも我が子の程なれや。  
花のかんばせ、月の眉、  
あな笑止せうし、そも誰人の御子ぞ。

參議經盛が末の子無官の大夫敦盛。

あはれ〜、今はとて、  
覺悟の態ていのけなげさに、  
いづこに刃やいばの立つべきぞ。

たゆたふひまに、源氏の勢せいの、  
いよゝ近づく音すなり。

今ははやとく斬れよ、  
南無阿彌陀佛……。

人の情もろたかたの仇浪の花  
散るは浮世か、泡沫夢幻。

元暦元年きさらぎの、

その面影を今もなほ、

よせてはかへす須磨の浦浪、

音たかし。

北村季晴氏作曲集

### 一〇、楠公の最期

綿雲が斷續しつゝ空を流れる。雨氣をふくんだ五月の午後  
の光は、どんよりと下界を照す。須磨口から生田へかけて、海陸

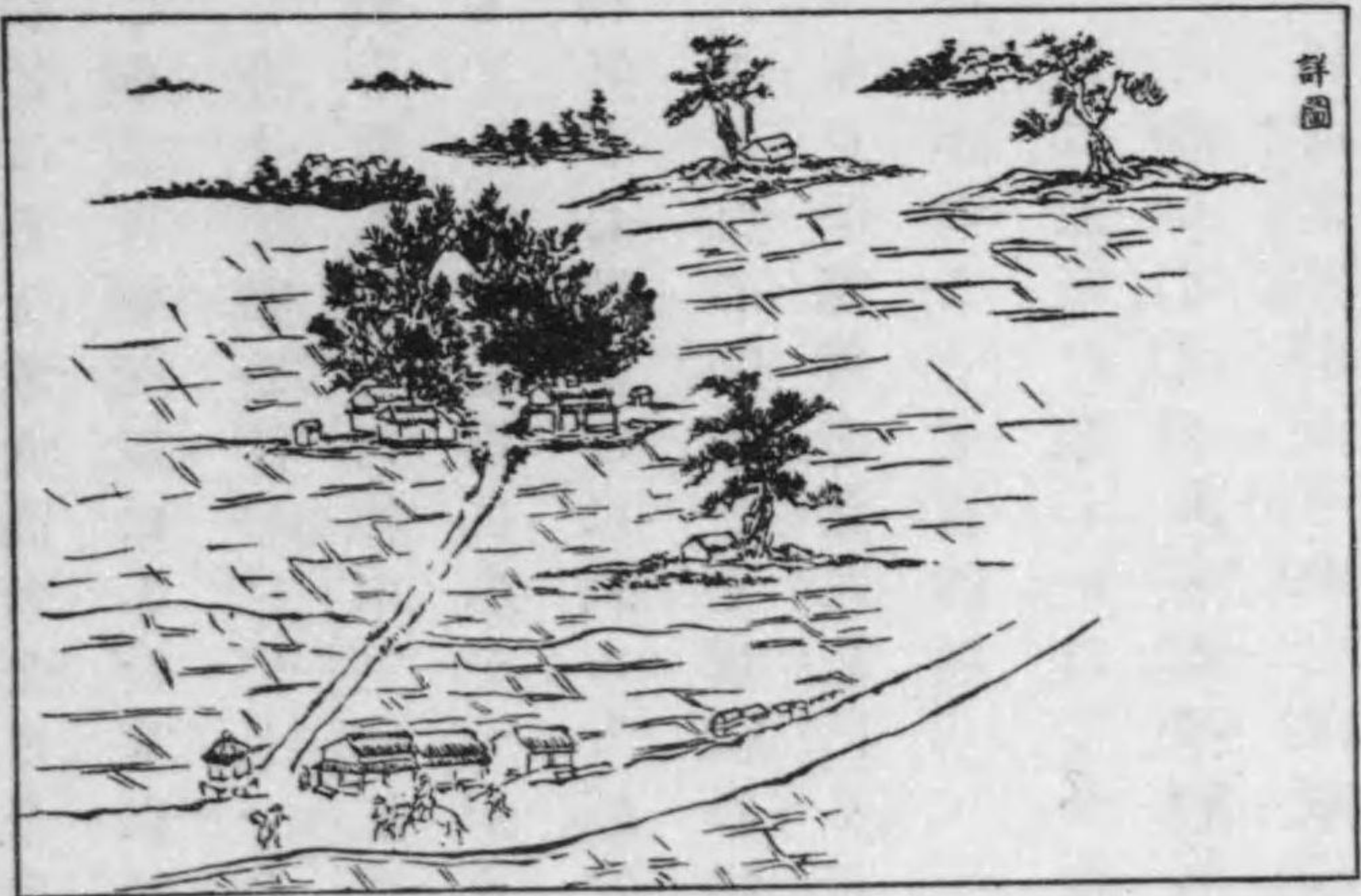
にとゞろく攻太鼓の音、とき、の聲、ひらめく太刀、なびく旗指物、血  
なまぐさい空氣はあたりに漲つて、早苗を渡る風もすさまじい。  
今まで數時間のはげしい合戦を續けたのに、惜しくも賊將直  
義を討ち洩した楠木判官正成は、血刀を提げたまゝ、會下山のふ  
もとに、しばし馬に息をつがせて、なだれを打つて崩れて行く足  
利勢を、心地よげに眺めて居た。幾年の苦忠にやつれた肩のあ  
たりに、血の痕すごく奮戦の名残をどゞめてゐる。前後左右に  
は、弟正季、部將志貴左衛門、その他いづれ劣らぬ忠勇義烈の一族  
郎黨がおよそ七百餘騎。

敵は鋭鋒に敵しかねて、一たまりもなく須磨の上野に逃げの  
びたが、もとより眼に餘る數萬の軍兵とて、盛返して、また押寄せ  
るは必定である。來らば來れ、かつては赤阪千早に、天下の大軍

楠公の最期

三七

江戸時  
代楠公  
墓城圖  
甲子夜  
話續編  
六十一  
卷によ  
る



詳圖

をかけなやました菊水の旗風の鋭さを、今ぞ心なき賊の奴原に見せてくれようものを。

突如として、けたましい叫が、かなたこなたに湧上つた。

「新田殿總崩れぢや。」

「總大將の本陣が危い。」

正成は小高い丘に馬を走らせて、きつとかなたを見渡した。たい見る和田の松原のほとり、砂煙濛々どたなびくところ、人馬のごよめき一しきりはげ

しく、どきの聲がどつと上つて、中黒の旗印が、もまれく、て東へなびく。待つ間遅しと新手的賊軍が、先を争うて上陸する。一隊は小野濱に廻つて、新田勢の背後をつく。目を轉すれば池尻の森蔭、寶満寺の屋根のあたりに高くそびえるのは、勝誇つた賊の總大將尊氏の軍旗である。

正成の面には、決死の色がはげしく動いた。

しどくくと降る夜の雨が、帷幕をあふる和田の本營に、夜を徹して語り合つた新田左中將よ。夜のしらく、明けに、別れの杯をあけて見交した二人の眼底には、千古を貫く純忠の赤心が燃えて居た。頼み頼まるゝ左中將よ。その軍は今や腹背に敵を受けて、もろくも潰え走らうとする。勝に乗じた敵軍は、大濤の如く押寄せる。連絡はすでに絶たれて、味方は全く孤立の位置

に立つた。

正成はおもむろに左右をかへりみた。

或は傷つき、或は倒れつゝ、なほ義に勇む一族郎黨の七百餘騎。正成百戦の功は實に彼等の賜であつた。彼等は正成の下知するまゝに、菊水の旗のひるがへるところ、死を見ること歸するが如く勇敢に戦つた。彼等にとつては、正成の往く處すなはち正義の道であつた。正成の指さす處、そこに生死を超越した美しい世界があつた。故郷を後に、戦陣の辛苦を共にすること多年、今や萬死に一生を期し難き重圍の中にも、彼等は勇んでその主と頼む正成の命令の下るのを、甘露の如く待ちわびて居るではないか。

「目ざすは直義一人ぞ。者どもつゝけ。」

正成は決然として馬を乗出した。

菊水の旗は殺氣を帯びて、眞一文字に戦塵の只中に突進んだ。向ふは賊の勇將高師直の率ゐる數千騎。面もふらすその中へ割つて入る神出鬼没の鋒先に、敵は早くも敗色を見せる。この時早く、盛返した直義の一隊が、矢さけび物すごく西からせまる。吉良上杉の勢は左右から、細川勢は東から、ごよみを上げて襲ひかゝり、會下山南方一帶の地は、忽ち修羅のちまたと化した。

合うては離れ、離れては合ひ、三時が間に十六合の大亂闘、今日を最後の正成が必死の采配に、篠とみだれる太刀先雨と降る矢の眞只中を物ともせず、たゞ一念直義の本營に斬入らんとする味方のけなげさ。ほとばしる血潮たふるゝ屍。頼み少く討ちなされながらも、なほかへりみて正成をかばはんとする部下の

情愛。

永い夏の日もいつしかおちかけて、夕靄が背後の連山に立ち初めた。敵は益、新手を加へて、雲霞の如く群り寄せる。味方の大部はすでに討死して、残るは僅かに七十三騎となつた。今ははや生きて盡くすべきは盡くし終へた。いで潔く討死して、最後の一念に味方の義氣をふるひ起させようぞ。献策用ひられず、櫻井の哀別に、断ちがたきを断つて出陣したのも、たゞ一死國に殉ずる赤誠の、止むに止まれぬ發露であつた。思へば、その昔、君に頼まれ參らせてより、數ならぬ身を王事にさゝげ得た其の面目こそ何よりも尊い永世の譽ではないか。誇ではな

いか。  
正成は馬首をめぐらして湊川を北へはせ上つた。

「すは御最期ぞ。後れて御供にはづれるな。」

と、七十三騎もろともに、我れ後れじとあとを追つた。

落日は慘として夕焼にもえてゐる。生田のほとり、遠く矢叫の聲を聞くのは、新田勢がなほ奮戦の最中であらうか。暮靄はのかにあたりをこめて、湊川の川波せゝらくどころ、松が枝わたる風の音のみがひとりいつまでも千秋の恨にむせんでゐる。

### 一、神田兵右衛門翁

名利に走らず、權勢を求めず、不屈の熱誠と高潔なる人格とを以て、専ら郷里の開發に努め、終生公共の爲に盡くしたる人、神田兵右衛門翁の如きは、けだし稀に見る有徳の士といふべし。

翁は幼名を徳三郎といひ、天保十二年二月十八日播磨國印南

郡大鹽村の大庄屋梅谷庄右衛門の三男に生れ、安政三年六月、入りて兵庫の素封神田家の嗣となる。慶應元年九月家督を襲ぐや、年漸く二十五歳。世は維新の風雲將に急ならんとしつゝある時なりき。



學校の建設  
神田兵右衛門

幕府すでに大政を奉還し、維新の大業略成りしも、人心未だ安定せず。翁思へらく、真に時勢に應じて永遠の計を立てんには、須らく先づ子弟を教化し、國民的自覺を起さしめざるべからず。乃ち縣令伊藤俊介にはかりて學校を建設し、名づけて明親館といふ。ついで明治五年學制頒布の事あるや、主唱して小學校數校を建設し、後併せて一大校舎となす。現兵庫小學校即

ちこれなり。その規模すこぶる大にして、當時他にかくの如き大なる小學校なし。よつて往々その大にすぐるを非難するものありしが、後僅かに十數年にして、市の發展に伴ひ、就學兒童激増して校舎は忽ち狹隘を逃げ、數個の分教場を増設せざるべからざるに至り、人皆始めてその先見の明に服したりといふ。

これより先翁は兵庫の港が古來關西無二の良港なるにも拘らず、秋期和田岬の邊は風浪はげしくして、往來する船舶の不便少からざるを憂へ、道を尻池駒が林にとり、一大運河を開通して、新に航路を開かんことを圖れり。この工の成らんか、出入の船舶は天候を顧みるの要全くなく、港の繁榮當時に倍するものありしならんも、工費莫大にして直ちに着手するを得ず。乃ち縣令に説き、有志を訪ねて、やうやく數萬金を得、明治七年運河開通



の大事業に着手することをえたり。しかも事業は意の如く進まざるを以て縣の督責すこぶるはげしく、又大金を要するを見て市民も非難の聲を止めざりしかど、翁はその初志をひるがへすことなく、日夜苦心を重ね、私財を以て資金を補ひ、家産殆ど盡くるに到りしかども、よくその目的を貫きて、明治九年七月遂にその工を終ふることを得たり。兵庫新川これなり。ここに於て兵庫灣内運漕の利便全く舊觀を改め、運河の兩岸、倉庫商店軒を並べて、昨日の荒野は忽ち繁華のちまたとなれり。

翁はまた商法會議所の必要に着眼し、明治九年條例の發布さるゝや、米商會所を設置し、推されて副頭取となりしが、十一年に至り、官民の間を斡旋して兵庫商法會議所を創設し、頭取となれり。會議所はその後一時廢絶に歸したることありしが、再び盡

商法會議  
所の設置

力して復興し、以て今日の神戸商業會議所に及べり。

その他兵庫開港の建議に、湊川流身の變更に、電氣局の設置請願に、一日として安座することなく、常に神戸市の爲に奔走して、席暖るにいとまあらざりき。

されば郷黨の信望はおのづから一身に集り、明治十五年縣會の開設せらるゝや、直ちに選ばれて議員となり、二十二年市會の開設せらるゝに當りては、一級及び三級より議員に並び擧げられしも、特に一級を辭して三級より出でたり。衆推して議長の重職に就かしむ。時に年四十九歳。頭髮漸く霜をそへんとし、公私の任益、重きを加へたるなり。

翁はまた敬神崇佛の心あつく、かつて明治の初、伊藤俊介が勅を奉じて湊川神社の境域を定むるや、進んで委員となり、専ら實

敬神崇佛

神田兵右衛門翁

四七

行の任に當りき。その後附近一帯の地次第に繁盛のちまたと化するや、神威をけがさんことをおそれ、また自ら率先して境内の整理、境域の改修に従事したりき。更に同じ頃延喜山福昌寺が、高僧拍嚴はくげんの苦心經營によりて、歸依きえするもの甚だ多かりしも、堂宇狭小にして、布教上の不便少なからざるを見て、翁は同志と共に東西に奔走して、寄附を募り、また自ら多くの私財を投じて規模を擴大し、堂宇を再建せり。世人が今なほ福昌寺を稱して「神田の寺」といふも、決して故なきにあらざるなり。また乃木大將の遺風を慕ふこと深く、つとに神戸乃木會を起して去華就實の風を宣傳することに努力し、後友人村野山人が京都の桃山に乃木神社を建てたる時も、力を添へたること多きはよく世人の知る所なり。

## 風流韻事

かくの如く公私の事、多忙を極めたれども、常に風流韻事に思をひそめ、殊に謠曲、點茶を好みたり。また松雲と號して和歌をよくす。後年その詠草を選び、名づけて「たしなみ草」といふ。格調高雅にして、よくその人品をしのばしむるに足るものあり。

明治二年縣令伊藤俊介に従ひ、湊川神社に繩張せしむ

みなと川名もかぐはしきくすの木

神のやしろの事始めして

大正六年折にふれて

わが宿の梅のはつ花さきぬらし

まくらに匂ふまごのあさかせ

大正八年新年の勅題朝晴雪

去年降りし雪の遠山今朝晴れて

神田兵右衛門翁

初日たゞよふ和田の海づら

大正九年十二月かりそめの病床に臥してより、醫藥效なく、翌年一月十三日、八十一歳の天壽を全うして眠るが如く逝けり。市民は擧げて哀悼の限をつくし、市會は満場一致、開市以來未曾有の市葬の禮を以てこの偉大なる市民の靈を送らんことを決議せり。こえて二十二日諏訪山麓武德殿に於て市葬を擧ぐるや、參列の官民二千有餘、皆衷心より故人の徳を稱へ功を賞し、誰一人として愛惜の感を催さざるものなかりきといふ。

### 二、湊川の改修

古くは西國街道の改修、生田川の附替より、近くは天井川の改修、荻藻島運河の開設に至るまで、神戸市の土木事業のいと多き

神戸市の  
土木事業

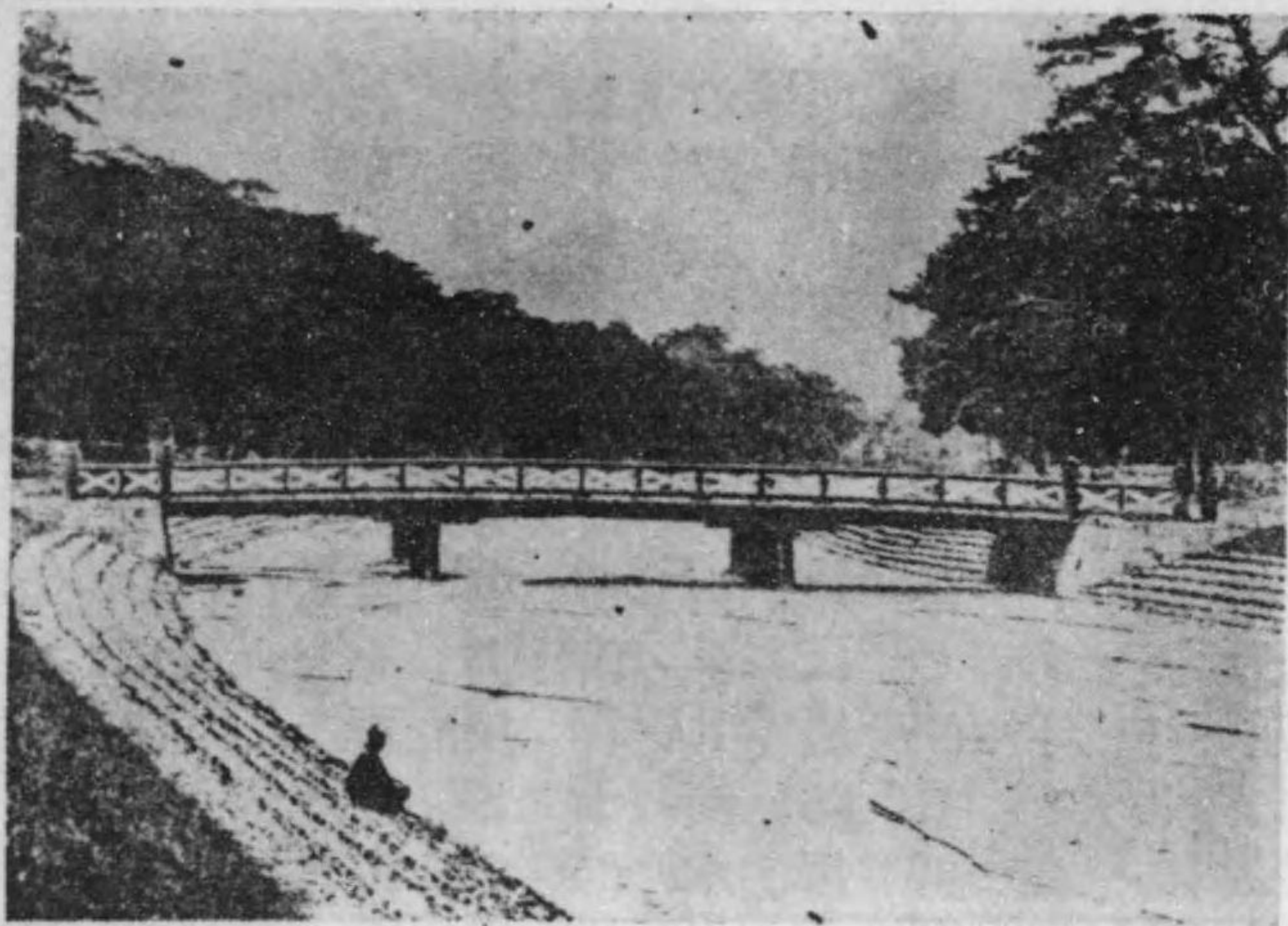
中にも、その土工の大なる點に於て、はた又市の面目を一新したる點に於て、湊川改修工事の如きは蓋し特筆すべきものゝ一なるべし。

そも、湊川は源を再度山の西北方に發する天王川と、鍋蓋山の北方に發する石井川との合流點以後を稱し、川崎濱の舊落口まで、其の延長は千四百十二間程なりき。然るに水源地方山林の荒廢により、大雨毎に河水氾濫して連年被害を絶たず。殊に明治七年の洪水には堤防潰え、被害甚だ大なりしかば、大藏省は兵庫縣に修築を命じ、工費貳萬八千圓を貸下げたり。よりにて縣は同年二月工事に着手し、堤防八百間を修築し、一部の川幅を擴げ、六月に至りて竣工せしに、竣工の當夜また暴風雨起りて堤防再び崩るゝこと三百間に及びしかば、同年七月更に工を起し、

湊川改修  
の必要

明治初  
年の湊川

神戸市  
史附圖  
による



石垣を堅固にし、堤防千二百間の改築を行ひ、十月竣工し、同時に道路を擴げ、橋をも架け改めたり。然れども湊川の流下するおびたゞしき土砂は、年々その川床を高め、従つて堤防の嵩上を促し、明治七八年の頃、川床の平地より高きこと既に二十尺に垂んとし、交通運輸の支障實に甚しかりき。されば兵庫の有志者中には、湊川を附替へ、洪水の危険と交通上の障害を

湊川附替  
工事

除かんとして、政府の要路にある人々の神戸を經由する毎に、これを湊川に案内し、國費を以て附替を行はん事を懇願せしかども、容易にその目的を貫くこと能はざりき。

漸く明治二十九年四月に到り、武岡豊太氏等の盡力によりて、湊川改修株式會社の設立成り、附替及び舊川堤防切均工事を出版願するや、市民中これに反對する者あり、ために工事着手の許可を得る能はざりしが、同年九月に大洪水ありて、これら市民も漸く早急の改修を切望するに至り、會社の出願は遂に許可せられて、計畫俄に進み、翌三十年十一月起工式を擧ぐるをえたり。その後工事は着々進捗して、三十四年七月通水式を行ひ、附替事業の完成を見るに至れり。

かくして成れる新湊川は天王石井兩川の合流點を起點とし、

トンネルを穿ちて會下山を貫通し、長田にて荊藻川と合し、南下して東尻池の海に注ぐものにして、延長二千四百四十二間、これが爲に要せる潰地は實に五萬三千餘坪に上れり。

この附替工事の結果、市民は洪水の危険を免れ、舊兵庫神戸間の交通運輸が非常に便利となりしことは言ふまでもなし。かつ舊湊川跡の埋立地は繁華なる市街と化し、現今神戸第一の民衆娯樂場となれり。人の流の常に渦を巻ける湊川新開地は即ちこれなり。

湊川新開地

### 自治制

#### 一三、國體の精華

立國の大義

神代の昔、天照大神が天孫瓊々杵尊を、この日本の國にお降しになる時に、

豊葦原の瑞穂の國は、吾が子孫の君たるべき國なり。爾皇孫就きて治らせ。さきくませ。天津日嗣の隆えまさんこと天地と、もに窮りなかるべし。

と勅を下し、また三種の神器をお授けになつた。この神勅こそ、實に我が立國の大義、建國の大精神を明示せられたものであつて、永世にわたつて動かぬ我が帝國の礎は、すでにこの時に定ま

つたものである。

その後、今日まで凡そ三千年の長い間、皇室は常に日本の國の中心柱となり、人民の總本家となり、天皇は臣民を赤子の如くに愛し給ひ、仁政をおしき下さつた。仁徳天皇は「國は民を以て本とす」と仰せられ、また「民の富めるは朕の富めるなり。」と宣はせられた。明治天皇は憲法發布の勅語に、

朕國家ノ隆昌ト臣民ノ慶福トヲ以テ中心ノ欣榮トシ

と仰せられ、今上陛下は御即位の大禮にあたり、

萬世一系ノ帝位ヲ傳ヘ神器ヲ奉シテ八洲ニ臨ミ皇化ヲ宣フベテ蒼生ヲ撫ス

と宣はせられた。代々の天皇が至仁至慈、いかに深く我々臣民を愛撫せられたかは、これを推しはかるすら、畏き極みである。

歴代天皇の御仁政

國民の忠君愛國

また我々日本人は、代々天祖の神勅を奉戴し、天皇を御親の如く、皇室を御本家の如くお慕ひ申して、忠君愛國の道を勵んで来た。大伴氏が代々

海行かば 水づく屍

山行かば 草むす屍

大君の 邊にこそ死なめ 長閑には死なじ

と言傳へ、源實朝が

山はさけ海はあせなん世なりとも

君に二心われあらめやも

と詠じたのは、國民の忠君愛國を最も明白に、かつ力強く表現したものである。

我等の祖先は代々忠良なる臣民として天皇に仕へ奉ると共

忠孝の一致

國體の精華

によく父母に事へて孝を盡くし、祖先に對して祭祀の禮を厚くした。凡そ子が父母を敬愛するのは、人情の自然に出るもので、孝行は實に子が生みの親に對する至情から發するものである。我が國は國をあげて一大家族を成すもので、皇室は國民の御本家、皇室の御先祖は同時に國民の先祖に當らせられるから、我々が父母に對する敬愛の情をおしひろめて、皇室に對し奉る時は忠となる。故に忠孝は二にして一、君に忠を盡くせば親に孝となり、親に孝を盡くせば君に忠となるのである。忠孝の一致は我が國獨特の國體によつて生じた一大美風である。明治天皇が教育勅語の中で、

我カ臣民克ク忠ニ克ク孝ニ億兆心ヲ一ニシテ世々厥ノ美ヲ濟セルハ此レ我カ國體ノ精華ニシテ

と仰せられたのも、これに外ならない。

凡そ君主國に於ては君主と臣民との完全に一致することが、國の繁榮する基である。我が國が三千年の長年月にわたつて、一度も外國の侮を受けなかつたのは、上天皇が諸般の政に御心を盡くし給ひつゝ、臣民をよく愛撫せられ、下臣民は至心至念、忠君愛國の純情を發揮したからである。

世界の列國は皆それ〴〵固有の特色を持つてゐる。これはその建國の基礎を異にし、歴史を異にするからである。世界に類なき國體を有する日本の國に生れた我々は、よく立國の大義を自覺し、地上を隈なく照す太陽にかたごつた日章旗の意味をそのまゝに、我が國運がいよ〴〵盛んとなるやうに、よく忠によく孝に、以てこの美しい國體を完全に擁護しなければならぬ。

## 一四、立憲政治

明治二十二年紀元節の祝日をえらんで發布せられた大日本帝國憲法は、明治大帝が皇祖皇宗の遺訓を繼ぎ、國家の隆昌と臣民の幸福とを増進せんことを深く望ませ給ふ大御心から制定し給うた欽定憲法である。この憲法が未だ發布せられなかつた以前と、今日とを比べると、我々國民の生活上に、果して如何なる差違があるであらうか。

憲法發布以前に於て、善政は一に爲政當局者の良心に待つの外はなかつた。もちろん我が皇室が國民を慈しみ給ふことは、昔も今も變ることなく、仁徳天皇が「民貧しければ則ち朕が貧しきなり、民の富めるは則ち朕の富めるなり。」と仰せられた大御

憲法發布  
以前の國  
民生活

心は、そのまゝ、歷代天皇の聖旨であつた。しかし叢雲が時に天日を蓋ふが如く、顯臣が要路に横たはつて聖明を晦まし、惡政を行つたことも、決して珍しくない。しかもかくの如き場合、國民はこれに對して殆ど發言の權利なく、又矯正の手段も殆ど持つてゐなかつたのである。然るに憲法の發布によつて、我が國は二千五百年來の專制國から一變して立憲國となり、臣民の權利は著しく伸張確保せられ、一部特權階級の者が我々の生命・財産を脅すとか、顯臣が私の利をはかつて民の利益を輕んずるとか、いふやうなことは、絶對に許されなくなつたのである。

諸外國が皆たび／＼血を流して、漸く立憲政體を確立することが出来たのに比べて、獨り我が國が何等の不祥事を見ることなく、平和の間にこの不磨の大典が發布されたことは、ひとへに



先帝陛下の國民を愛し給ふ深き御いつくしみから出來たことであつて、國民は永久にこの御恩を忘れてはならないのである。

次に立憲政治の本義はどこにあるか。專制政治と比べてどんな美點と長所を持つて居るか。第一凡べて專制政治の國には、立憲政治の國に觀るやうな憲法といふものがなく、統治者はその意志のまゝに統治權を行使し、しかもその際何等の制限をも受けない。従つてその國民は參政權を與へられず、善政も悪政も全く爲政當路者の心のまゝで、人民は殆どこれに參與することが出來ないのである。この政治の方式は統治者が賢明であつて、公平に政治を施す場合にはうまく行はれる。しかしさうでない時には、公の統治と統治者の私事とが混同せられ、政治は不公平、壓制、横暴、專恣に陥りやすく、従つて國民が不平、怨恨

立憲政治の本義

立憲政治  
と民選議  
會

の情を抱きやすく、國が亂れ、革命が起ることさへ珍しくない。

これに反して立憲政治の國に於ては、憲法を制定して君主統治の大權を明にし、臣民の權利義務を定め、臣民に參政權を與へてある。従つて立憲政治では爲政者が國民と共に政治を議する機關、即ち公論を代表して大政を協賛すべき民選議會を設け、こゝに國民の選良を集め、國民の輿論を代表させてあるのであるから、當然議會が政治の中心機關となる。何人が政治の局に當ることも、議會を無視しては國政を施すことが出來ないはずである。

彼の立憲政治の本場と稱せられるイギリスでは、内閣を組織するものは必ず議會に多數を制する政黨の首領といふことになつてゐる。我が國では政黨の首領たるを否とを論せず、大

命を拜したものが内閣を組織することになつてゐるけれども、しかし議會多數の意志を無視したならば、國政を圓滿に遂行することが出来ないことはいふまでもない。つまり立憲政治は統治者が廣く國民の意志を求めて、これを統治者の意志に同化し、その合意に依り、憲法の規定に基づいて統治を行ふことであると言換えることが出来る。

要するに立憲政治は、專制政治に比し、遙かに進歩した穩健かつ正當な政治の方式であつて、國民の政治思想の發達を促し、愛國の情を高め、團結力を鞏固にするなど幾多の美點と長所を持つてゐる。殊に今や國民が多年要望<sup>オウゴウ</sup>し來つた普通選舉法も愈、大正十四年五月五日を以て公布せられ、眞の民意に基づいてゐる政治を實現すべき時は來た。我々は立憲國民たるの幸福

國民の覺悟

普通選舉の實施

とその職責の重大なることを自覺し、おのがじし政治的訓練と修養とをよく積んで、その運用をあやまらないやうにつとめ、誓つて憲政有終の美を收めるやうにしなくてはならない。

### 一五、自治の精神

かつて内務省の高官某氏が、歐洲を巡遊して、イギリスの自治團體を監督する中央官廳を訪問した時、試みに、

「あなたの官廳では、地方自治團體の監督の爲に、一年に凡そどれ程の人を、幾箇町村へ、幾日間、位出張をおさせになりますか」と言つて尋ねてみた。ところが

「私の方にはさやうな事がありませんから、お答に苦みます。」といふ返事であつた。某氏は更に

イギリスの自治

「それなら市町村の自治行政に不当なことがあるとか、もしくは違法な事があるとかした場合には、どうなさいますか。」と重ねて聞いてみた。すると

「私の國では市町村は自治制を施行してゐますから、讀んで字の如く、自分の事は皆自分でするといふことになつてゐます。従つて中央官廳が監督に出かける必要がありません。もちろん、時には不当不法の事も無いではありません。しかし、それは自治體が自ら救済してゐますから、少しも干渉する必要を認めません。」

といふ話であつた。それを聞いた某氏は心の中で、そんなりつぱなことを言つてもと思ひながら、二三の市へ行つて實地に監督の狀況なり、不當不法の事があつた場合の處置なりに就いて、

調査してみたところが、どの市の答も、監督官廳の答と全く一致してゐた。そこで某氏は、今更ながら彼の國に於ける自治精神の盛なのに、驚きもし、羨しくも感じたといふ話がある。

またかつてアメリカ合衆國のホーエーといふ人が、イギリスの自治の狀態を視察して、グラスゴー市へ行つた時、雇つた馬車の馬丁が、市の豫算や、税金や、水道や、下水や、瓦斯事業や、その他何から何まで市の現狀を詳細に話して聞かせたので、ホーエーは驚いて、

「君は何故そんなに市政に詳しいのか。」

と尋ねてみた。すると馬丁は

「私はこの市の市民です。グラスゴーの市民は、誰でも市の事に就いては、私の知つてゐる位の事はよく心得てゐます。」

と事もなげに答へたといふ話がある。

我が國に自治制が布かれて、既に三十年以上を經過してゐるが、國家の監督を必要としないまでに、自治の發達した市町村が、果してどれ程あるであらうか。またグラスゴー市の馬丁のやうに、自己の屬する自治團體の實情をよく心得てゐる市町村民が、果してどれ程あるであらうか。

我が國の自治制は、隣保團結りんぽだんけつの舊慣に淵源し、制度そのものとしては、西洋諸國に比して、優るとも決して劣るところのないりつばなものである。しかし制度は死物であつて、これを活用するものは人であるから、運用する國民に自治の精神が缺けてゐたならば、到底優れた自治の美果を結ばせる事は出来ない。

然らば謂ふところの自治の精神とは何であるか。一言にし

て言へば、自分で自分のすべきことをするといふ精神である。他人の厄介にならぬやうに、よく身を修め、家を齊ととのへ、自己の屬する自治團體の事務を、己れ自身の事として、互に一致協同し、熱心と誠意とを以て盡力する精神である。

この精神こそ實に自治制の根本であり、またその中心生命なのである。この精神を缺いた自治團體は、あたかも魂を失うた人間の如く、單なる形骸に過ぎない。故に一般人民が府縣市町村會議員を選擧するにも、府縣市會で參事會員を選擧するにも、はた又市町村長がその事務を處理し、議員が豫算を議するにも、常にこの自治の精神を失つては、凡べての事が正しく行はれるはずがないのである。

もし一般人民が、自治に冷淡・無關心であり、公吏・議員等公共の

事務に當る者が自治の精神に乏しく、公平忠實にその職務に努めないならば、その自治團體の前途には、最早暗黒と不幸との他何物もないであらう。

我が神戸市に於ても、市をして自治の樂園たらしめると否とは、一に市民各自の自治精神が旺盛であるか否かによつて定まる。市民たるものは、常に立憲自治の國民としての重き責任を自覺し、神戸市の爲に一致協同して大いに盡力する覺悟がなければならぬ。

### 一六、市住民と市公民

「お父さん、市の住氏と公民とは同じことですか。」

「いゝえ違ひます。市内に住所を持つてゐる者は誰でも市の

住民

住民と言ひます。住民は市の財産と營造物とを共用する權利を與へられてゐる代り、市の負擔を分任する義務があります。」

「それでは公民といふのはどういふ意味ですか。」

「公民といふのは二年以來その市に住み、二年以來その市の直接市税を納め、獨立の生計を營んでゐる、年齢二十五歳以上の帝國臣民たる男子を言ふのです。」

「市の公民は住民とちがつた權利や義務を持つてゐますか。」

「公民は市の選舉に携はり、名譽職と言つて報酬なしで市の公務に従ふ職に選舉される權利を有し、また名譽職を擔任すべき義務を持つてゐます。」

「名譽職になるのをいやがつたらどうなりますか。」

市住民と市公民

公民

公民の權利義務





市會議員  
としての  
適任者

あらうか。これを簡単に示すことは困難であるが、今後我が大  
神戸市の市會議員たる人は、少くとも次の条件だけは備へてゐ  
なくてはなるまいと思はれる。

一、常に世界の大勢、國家の大局に着目し、その上に熱烈な愛市  
觀念を持つてゐること。

二、現代文化の本質及びその傾向をよく知つてゐること。

三、眞面目で、公平で、進取の意氣に富んでゐること。

四、自治制度の智識並びに常識を持つてゐること。

五、主義識見を有し、忍耐力強く、政黨政派の消長に依つて心を  
動かされないこと。

六、神戸市の事情を熟知し、かつこれを如何に指導改善すべき  
かといふ事について定見を持つてゐること。

イギリスやドイツでは、教育あり、財産あり、清廉にしてかつ有  
爲なる第一流の紳士が、市町村會議員たることを大なる名譽と  
考へ、喜んで地方團體の爲に時間と勞力とをさゝげ、市町村民も  
またこれら最良の人士を選擧することを以て、無上の誇とする  
美風がある。我が神戸市を善くするのも、悪くするのも、一に懸  
つて六十二名の市會議員の双肩にある。市民は市會議員の選  
擧に當つては十分なる銓衡を加へ、神戸市の利害を双肩に擔ひ、  
喜んで議員たるの公職を全うし得る優秀にして尊重すべき議  
員を得ることに努めなければならぬ。

### 一八、市會と市參事會

市會は市の意志を決定する機關であつて、その意志の決定は、

市會の議  
決すべき  
事項

市會と市參事會



議決決定選舉検査意見の開陳等の形を以て行はれる。その中、最も重要な任務は議決である。議決すべき事項は

- 一、市の條例及び規則を設け又は改廢すること。
- 二、市費を以て支辨すべき事業に關すること。
- 三、市の歳入・歳出の豫算を定めること。
- 四、市の決算報告を認定すること。
- 五、法令に定めてあるものを除くの外、使用料・手数料・加入金・市税又は夫役現品の賦課・徴收に關すること。
- 六、市の不動産の管理處分及び取得に關すること。
- 七、市の基本財産及び積立金穀等の設置・管理及び處分に關すること。

等であつて、すべて市の意志を定むべき事件は、必ず市會の議決

市會の決定すべき事項

を要するのである。次に市會は市政に關する爭議を決定する。その爭議とは

- 一、選舉人名簿に關する異議。
  - 二、選舉または當選の效力に關する異議。
  - 三、市會議員の被選舉權の有無。
  - 四、市税の賦課。
  - 五、市の財産又は營造物を使用する權利に關する異議。
- 等である。

市會の検査權

市會はまた

- 一、市長候補者・助役・收入役・副收入役・學務委員・市會議長及び副議長等を選擧するの權。
- 二、市吏員の執行する事務に付き検査するの權。

市會と市參事會

三、市の公益に關して市長又は監督官廳に意見を開陳するの權。

四、市の利害得失に關係ある事件につき、行政廳の諮問があつた時、これに對して答申するの權。

等を持つてゐる。かく市會の權限は非常に廣大であつて、大小輕重となく市政のことはすべて市會の問題とならないものはないのであるから、市會は實に市政の原動力とも言ふべく、市會議員の職責たる、眞に重かつ大なりと言はなければならぬ。

市は町村と異り、概してその區域が廣く、人口も多いから、従つて議員の數が多くなり、事務もまた繁多となる。故に屢、多數の議員を招集して市會を開くといふことは、煩はしいばかりでなく、議員もまた自己の職業上出席に困難を感じることもあらう

## 市參事會

し、時に或は事件の處理につき、時機を失ふやうな事が起るかも知れない。そこで少數者を以て組織せる市參事會が設けてあるのである。

市參事會は職務上當然市參事會員となる市長及び助役と、市會に於て互選せられた議員即ち名譽職參事會員とを以て組織する。名譽職參事會員の定員は、一般の市にあつては六人、東京大阪の如き大都市にあつては、その市の必要によつて十二人まで増加することが出来るやうになつてゐる。

市參事會は市會の如く、別に議長を選擧することなく、市長を以て議長とし、市長故障あるときは、助役が代理することになつてゐる。その權限は、

一、市會の權限に屬する事件中で、その委任を受けたものを議

市參事會  
の組織と  
權限

決すること。

二、市長から市會に提出する議案について、市長に對し意見を述べること。

の二つが主なものである。

一の事件については、市會は參事會限りで處理することの出来る範圍を委任し、市參事會はこれに基づいて行政の事件を決定するのである。二の場合に於ては、市長は市會に送るべき議案を、先づ市參事會に提出してその意見を徵するものである。それ故市參事會は市會を代表してゐる機關であると共に、市會と市長との間に在つて、その意志の疏通をはかるべき任務を持つものと言ふことが出来る。

### 一九、市の吏員

市の執行機關

市の議決機關たる市會が決定した意志を實行する機關、即ち市の執行機關は市長である。しかし市長一人だけでは、とてもその職務を完全に遂行することが出来ないから、補助機關として市參與、助役、收入役、副收入役、區長、區長代理者、委員及びその他の吏員を置くのである。

市長

市長は市の有給吏員で、その任期は四年である。内務大臣の命に依つて、市民の代表機關たる市會が、三名の候補者を選擧推薦すると、内務大臣は、その推薦に基づいて上奏し、その一人に勅命されることになつてゐる。

助役

助役も市長と同様、有給吏員であつて、任期は四年である。市

市の吏員

長の推薦によつて市會がこれを定め、市長がもし職に居ない時には、市會がこれを選擧し、府縣知事の認可を受けることになつてゐる。定員は市の大小によつて定まらない。我が神戸市は二名を置くことになつてゐる。

市參與

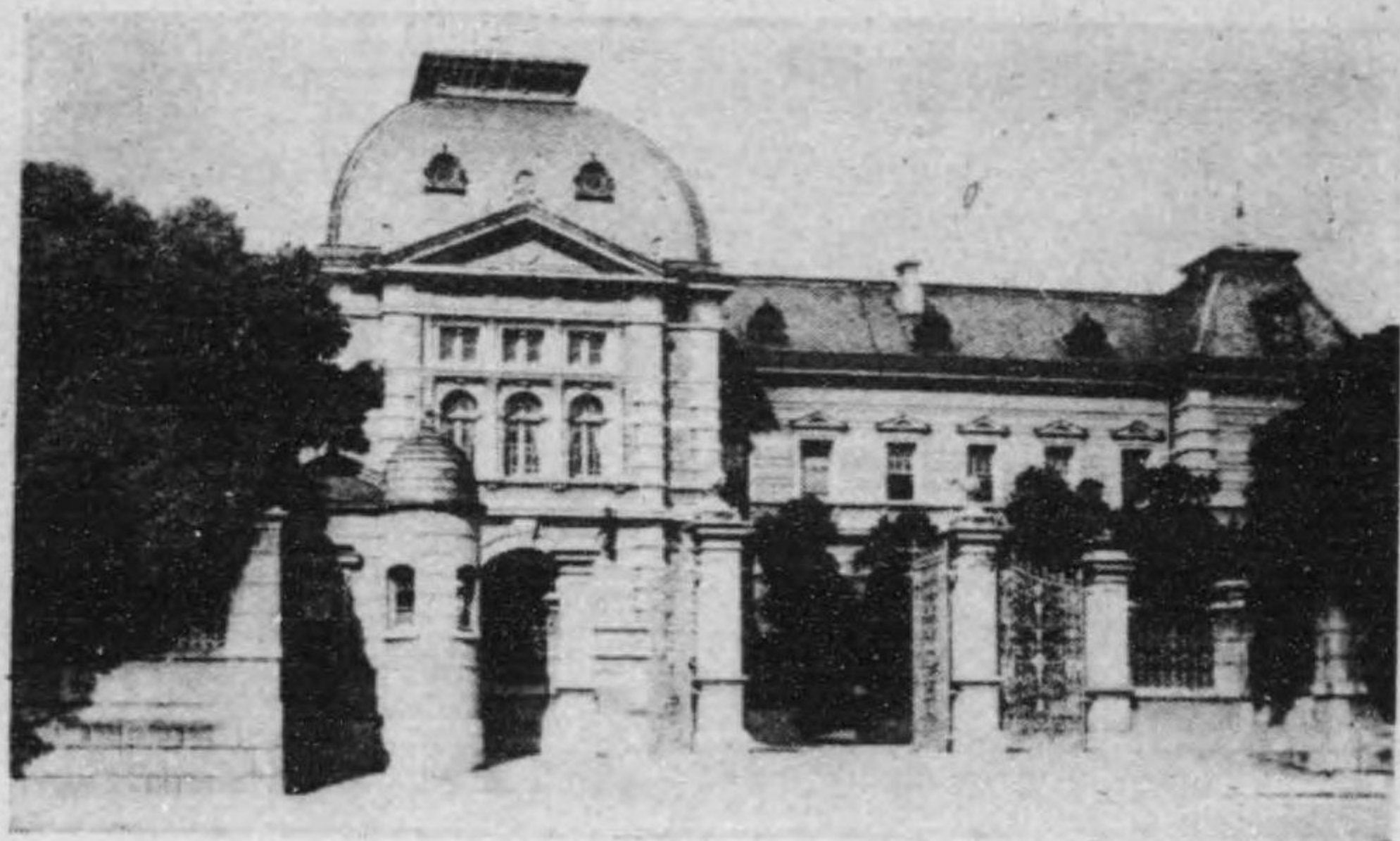
市參與は市の經營に屬する特別の事業を擔任させる必要のある市に於て、市條例を以て置くことが出来るものである。有給のこともあり、名譽職のこともある。但し名譽職の場合には、市の公民に限るといふ規定がある。

収入役

収入役もまた市の有給吏員で、その任期は四年である。市長の推薦によつて市會がこれを定め、府縣知事の認可を受けることになつてゐる。

市吏員

以上の他、市長助役の指揮によつて實務を處理して行く市吏



兵庫縣廳



神戸市役所

員は市の必要に應じて任命するのであつて、別にその數を限定しない。最近神戸市に於ては、市役所・電氣局・須磨出張所・衛生試験所・東山病院その他を通じて千二百餘名に上る多數の吏員が市の爲に働いてゐる。

## 二〇、市の監督と特別市制

市は一個獨立の自治團體であるに相違はないが、本來國家行政の一部を委任せられ、これを市の行政として行ふものであるから、當然國家の監督に服しなければならぬ。さうしてその監督は、先づ第一に府縣知事により、第二に内務大臣によつて行はれる。されば我が神戸市は、先づ兵庫縣知事の監督を受け、その上更に内務大臣の監督を受けてゐるのである。

上級官廳  
の監督

監督の範圍はすこぶる廣く、

- 一、市の實況を知ること、
  - 二、指揮命令すること、
  - 三、議決又は選舉を取消すること、
  - 四、強制豫算を定めること、
  - 五、市長助役に故障ある場合に、臨時代理を選任し、または官吏を派遣して、その職務を管掌させること、
  - 六、事件を許可すること、
  - 七、市會を解散させること、
  - 八、吏員を懲戒すること、
- など、殆んど市の行政のあらゆる場合にわたつてゐる。
- しかし、今日東京・大阪・神戸の如き大都市は、人口・資力その他に

於て優に府縣と肩を並べることが出来る。然るに人口僅に數萬を有するに過ぎない小都市に對すると同様な、劃一的監督を加へることは、徒らに事務の繁雜と遲滯とを來たすに過ぎない。こゝに於て近時東京・大阪・神戸・京都・名古屋・横濱の如き大都市に對しては、他の中小都市と違つた特別の制度を設け、府縣と對立した特別の行政區域として、市長の權限を擴大し、なほ交通・衛生等に關する警察權をも市長に附與するのが適當であるといふ議論が起るやうになつて來た。

我が神戸市も、先年來屢、特別市制實施に關する意見書を關係大臣や、貴衆兩院議員に提出した。さうしてその建議案は既に衆議院を通過してゐるから、神戸市に特別市制が實施されるのも、恐らく遠い將來のことではあるまい。

## 二、清き一票

近く神戸市會議員の改選が行はれる。議員にならうとする候補者や、候補者を是非當選させようとして奔走して居る有志の人々が、あちらこちらで、演說會を開いたり、推薦状や依頼の手紙を出したり、知合ひの人々を訪問して依頼したりして、盛んに選舉運動をしてゐる。

昨夜も附近のお寺で、候補者某氏を後援して居る人々の演說會が行はれた。その時後援者の一人が次のやうな演說をした。皆さん、私どもの胸にある心臓は一滴の血をも製造しないけれども、絶えず血液を全身に循環させてゐます。晝も夜も四六時中一刻も休むことなく血液を送つてゐます。胃や腸や

議員候補者推薦演説

心臓の強弱

脳髓や手や足はこの送られた血液を受けて活動してゐます。全身の活潑な働はこの送られた血液のおかげであります。血液はかく我々日々の活動力の根源となるものでありますから、誰も皆血を大切に致します。しかし心臓は血を作ります。血は大切であるが、血を作らない心臓は大切ではないでせうか。眼の大切なことを知らない人はありません。頭の大切なことを知らない人もあります。心臓は血液を作らないが、血液を送ると言ふ重要な働きを致します。もし心臓が血液を送らなければ、眼があつても見え、脳髓もその活動を営むことが出来ません。ですから心臓は血液を作らないけれども、血液を作ると同様に大切なものであります。さうして心臓が弱ければ、手や足や胃や肺などに血液が十分

に送られませんか、手や足や胃や肺などは自然と弱つて來ます。これに反し心臓が強健であれば、手や足や胃や肺なども、またおのづから健全となるものであります。政治と國民生活との關係は、ちやうど心臓と全身との關係のやうであります。政治は一石の米、一俵の鹽をも生産しませんが、しかし國民の生活は悉く政治に關係してゐます。政治が悪ければ、國民は不當な束縛を加へられるかも知れません。不當な租税を課せられるかも知れません。よし租税の徴收は公平であつても、政治に携はるものが、集めた税金を自分等に都合のよいやうに使ふかも知れません。それは一國の政治でも、府縣や市町村の自治政でも同じことあります。心臓は一滴の血をも作り出すものではないが、その強弱は、全

身の強弱に重大な關係を及ぼすが如く、政治は一斗の米をも産出しないが、その善悪は國民の生活全般に驚くべきほど密接な關係を持つてゐます。もし政治は政治、商賣は商賣だ。その間に何の關係もあるはずがない。政治のことは政治家が心配してくれる。我々商人は唯商賣さへ勉強すればよいのだ。といふ人がありとすれば、その人は氣の毒な明盲あきめくらと言つてもよろしいでせう。

さて立憲政治の國に於て、國及び自治團體の政治の基礎となり、その政治の善悪に最も密接な關係を持つものは選舉であります。それは言ふまでもなく、立憲國に於ては選舉によつて當選した議員の多數決によつて、一切の事が處理せられ決定されるからであります。



## 一票の力

されば選挙にあつて人格のすぐれた、識見の高邁な、かつ政治上の手腕のある人をよく見極めて、自己のよいと信ずる人に一票を投ずればよろしいが、もしさもなくて情實や利益や權勢のために自分がよいとも信じない人に投票し、さうして議員として適當でない人が當選したならば、その結果はどうでせう。誠に恐るべきものがあるだらうと思はれます。りつばな政治は實に神聖な一票、思慮をこめた、あつき信念から投じた一票の集りから出發するものであります。一票よく國を興し、またよく國を亡します。市會を善良ならしめるのも、腐敗させるのも、唯この一票の力ではありませんか。この貴重な一票を有効に善用することが、實に立憲國民たる吾人に與へられた重大な權利であると同時に、又重大な義務

であります。

すでに清き投票をすることが國民の重大な義務であるとするれば、投票の當日に投票をしないのもまた不徳な行爲であります。りつばな投票をしないことよくないことは誰も知らない人はありません。しかし投票をしないのは、選挙人の勝手のやうに思つて、別に不徳義とも思はない人が少くありません。なるほど棄権者は國法で罰せられません。けれども投票の棄権は投票權の悪用と同じく重大な義務を破り、併せて又重大な權利を棄てるものでありますから、立憲政治の發達を妨げる憎むべき行爲であります。信用しない人に投票するのは積極的の惡であり、棄権するのは消極的の惡であります。共に我々の慎むべき事であります。年一年よくな

つて参りますが、まだ選挙の騒の起るたびに、多少の醜聞があるやうです。今後の神戸市民は絶対にかゝる醜聞をさけたいものだと思います。

### 都市問題

#### 二、近代都市の發展

「科學の世紀」と稱せられた十九世紀から、二十世紀にかけて、世界の最も著しい現象の一は、都市の膨脹といふことであつた。十六世紀に曙光を放つた科學は、十九世紀に入つて長足の進歩を遂げ、文化發展の上に多大の助となつたが、中にも蒸氣力及び電氣力の應用は、その最も著しいものであつた。

蒸氣力及び電氣力の應用は、産業組織に革命を促し、小規模な手藝工業・家庭工業は漸次衰へて、機械工業・工場工業と變り、都市及びその近傍には、多數の男女職工を使役する工場が、到るところ

科學の進歩と文化の發展

近代都市發展の原因

ろに勃興した。同じやうに蒸氣力及び電氣力は應用せられて汽車、汽船となり、電信、電話となつて、交通運輸の機關は驚くべき發達を遂げた。この工業と交通との發達は、相互に因となり果となつて、都市の活動と膨脹とを益盛ならしめ、政治、教育、軍備の中心地たる都市は、同時に物貨の集散地、工場の集合地となり、都市の人口を急激に増加せしめた。加ふるに、都市生活の便利と興味とは、田舎人の「都に憧れる心」をそゝり、彼等をして鋏を捨てて都市に走らしめた。かくて十九世紀から二十世紀にかけて、都市は膨脹に次ぐに膨脹を以てし、都市問題は社會學者の研究の焦點となつた。

## 都市發展の實例

イギリスの統計によると、一世紀以前には、都市の住民は、全イギリス人口の僅かに一割七分に過ぎなかつたが、五十年後には

## ロンドンの發展

五割となり、更に千九百十一年には七割八分一厘となつて、村落の人口は、僅かに二割一分九厘に減じた。

これを都市の實例に就いて見るならば、ロンドンは二千年來の古都であるけれども、十九世紀の初葉には、人口百萬に満たず、我が大阪市よりも遙かに小さい都市であつた。然るに、今日では人口は八百萬を算へるやうになり、尙駭々として發展を止めないのである。

フランスでも、アメリカ合衆國でも、都市の急激な膨脹はイギリスと同様であつて、パリは百年間に五倍の人口となり、一千八百四年には僅かに四千餘の人口を有するに過ぎなかつたシカゴは、今日世界で第六位、二百七十萬の人口を有する大都市となつた。一千八百年に、アメリカ合衆國に於て、人口八千以上の

## パリ、シカゴの發展

我が國に於ける村落の人口増加比較

| 種別                      | 明治二十一年末日    | 大正九年十月一日    | 年平均増加歩合(人口千人に付) |
|-------------------------|-------------|-------------|-----------------|
| 村落<br>人口10,000人まで       | 34,935,642人 | 37,926,931人 | 2.57人           |
| 地方都會<br>同10,000-20,000人 | 941,553人    | 5,074,460人  | 62.16人          |
| 小都會<br>同20,001-50,000人  | 1,272,166人  | 4,102,746人  | 37.56人          |
| 中都會<br>同50,000-100,000人 | 534,499人    | 2,105,318人  | 44.11人          |
| 大都會<br>同100,000人以上      | 2,421,619人  | 6,753,598人  | 32.83人          |

都市は僅かに六つに過ぎなかつたが、今日では六百數十を數へるやうになつた。

我が國では、都市の人口集中が未だイギリスその他のやうに激しくはないが、それでも大正九年の十月に施行された國勢調査の結果を見ると、上記の表の如く、都市の膨脹、農村衰退の事實は容易に伺ひ知ることが出来る。

また明治二十二年に市政を施行して居つた都市は、全國で僅かに三十九に過ぎなかつたが、最近には百以上にな

つてゐる。

今や人口の中心は、非常な勢を以て田舎から都會に移つてゐる。大阪市の如きは最近二十年間に、人口を約二倍半に増加した。東京市は明治二十一年の市制施行當時に比し、今日では約百萬人の大増加を示して居る。

神戸市の發展

我が神戸市の如きも、最近では東京・大阪に次ぐ大都會となつて、八十萬の人口をもつやうになつた。

人口の都市集中と田園の凋落的傾向とは、實に世界共通の現象である。我が國もやがてはイギリスその他の諸國のやうに、人口が大部分都會へ集中するやうになるかも知れないが、これは決して喜ばしい事ではないのであつて、むしろ文明の病弊と言はなければならぬ。

## 三、都會と田舎

田舎から出て来て、始めて都會の生活に入ると、誰でも先づその華やかさと便利さに驚かされます。

都會の生活の華やかさ。廣い舗装街路が四通八達して、宏壯美麗な建物が櫛の齒のやうに並び、美しい街燈や華やかな飾窓の光の海の中を、電車が走る。自動車が駆ける。孔雀のやうに着飾つた美しい人の幾群が、さゝめきながら通り過ぎる。色と光との入りまじつた美の世界——人は皆幸福に酔うてゐる樂園の住民の如く、貧しい人、不幸な人は一人も居ないやうに見えてゐます。

都會の生活の便利さ。そこには汽車があり、電車があり、電燈

都會生活  
の華やか  
さ

便利のよ  
さ

があり、瓦斯があり、水道があり、學校があり、圖書館があり、音楽堂があり、寄席があり、劇場、病院、新聞社があり、一切の商店が備つてゐます。お金さへ出せば、どんな娛樂でも、慾望でも、自由に満たすことが出来ます。

田舎の人達が、一國文化の代表たる都會生活を羨望し、これに憧れるのも誠に無理のない話だと思はれます。しかし華やかで便利な都會生活の裏面には、また恐るべき缺陷や病弊が伴つてゐることを見逃してはなりません。

第一都會生活は、保健衛生の上から見て害毒が少くありません。現今の都會の多くは、極めて無秩序に發達したものですから、どうしても街路の雑沓が甚だしいのです。住宅が不完全です。空氣が濁つてゐます。日當りがよくありません。

都會生活  
の缺陷

都會の人の身體が著しく薄弱となり、肺病その他のいはゆる「都會病」が蔓延し、傳染病が度々發生し、死亡率がふえ、出生率が減つて行くのも、誠に無理のない話です。これでは都會は農民の墓場なり。」と言はれても仕方がありますまい。

第二に都會は戸口が稠密で交通が頻繁ですから、うっかりしてゐると、自轉車に突當ります。自動車にしかれます。電車や汽車におびやかされます。ちよつとの間の油斷も出來ません。人家が建てつまつてゐますから、火災や地震には危険が大きいのです。その上、強盜や殺人などの恐ろしい犯罪も少くありません。都會の生活は本當に不安であると言へませう。

その他、都會の生活は物價が高く、入費が多いとか、年中忙しく騒々しくて、のんびりした氣分が味へないとか、人の思想を不

健全ならしめる誘惑物が多いとか、算へて見ますと随分多くの短所を持つてゐます。

田舎の生活には、都會の生活のやうな華やかさもなく、便利さもありません。しかし空氣は清らかですし、日當りはよし、衛生上から言へば遙かに都會を凌いでゐます。また人情が厚くて質素ですから、生活が簡易で、都會のやうな危険と不安とは少しもありません。都會の人が田舎ののどけさ、静けさ、心安さを羨むのも、實にもつともな次第です。

もし都會の生活の缺陷や病弊を除いて、その華やかさと便利さの上に、田舎生活の心安さと、安全さを加へることが出來たら、どんなに楽しい理想的な生活が出來るでせう。私達都會に住んで居る者の心の奥から起る願は、實にかく改造された生活を

實現することでありませす。

### 二四、田園都市

都市生活に幾多の美點と長所を持つてゐることは、今更言ふまでもないが、同時に幾多の缺點と短所を持つてゐることもまた否定することの出来ない事實である。中にもその不秩序な過群生活から起る空氣の不潔、住宅の狭小、日光の不足、周囲の喧騒、生活のあはたゞしさなどは、何と言つても、美しい自然に圍まれた田園生治ののどけさ、静けさ、心安さに比べて大なる缺點である。これら近代の都市生活から來る諸の害毒や苦痛に堪へかねても、つと餘裕のあるゆつたりした感じと、心地よき氣分とにひたり、健全な生活を營みたいといふ欲求は誰しも持つ

都市生活の長短と田園都市

であらう。この切實な欲求から生れたものが即ち田園都市の計畫である。

田園都市の意義

田園都市は、普通に田園住宅地と同じ意味に解釋されてゐるが、かの有名なイギリスのレッチウオース田園都市の建設者ハワード氏は、この二つを明かに區別し、眞の田園都市は人口二萬乃至五萬に限り、その中に都市計畫のすべての施設を完備し、市政機關その他都市として必要な、一切の組織を具備するものでなければならぬと言つてゐる。この意味から言ふと、歐米及び本邦各都市に於ける郊外住宅經營の如きは、すべて田園都市の名を附けることが出来ないものであつて、眞の田園都市は、現在イギリスに唯二箇所あるばかりである。その一つは既に世界に普く知られてゐる英國最初の田園都市レッチウオースであつ

嚴密なる意味に於ける田園都市の實例

廣義に於ける田園都市

て、他の一つは、ウエルウインである。しかし廣い意味に於ける田園都市即ち田園住宅地ともいふべきものは、世界各國に随分その例が乏しくない。

田園都市の特徴は、廣狹いづれの意義に於ても、現在に於ける凡べての藝術・科學及び技術を遺憾なく活用して、かの都市生活に見る美點長所を十分に保持すると同時に、清新なる空氣、住み心地よき住宅、美しい庭園など、田園生活に伴なふ美點長所を出來得る限りこれに取入れて、人間生活に慰安と力とを與へ、その能率を増進しようとするのである。我が國は土地が狭小で地價が高く、大面積の土地を得る事が困難であるから、嚴密な意義に於ける田園都市を造ることは、或は不可能であるかもしれないが、しかし小規模の田園郊外住宅の經營は大都市の附近には

我が國と田園都市

既に續々實現されてゐる。

我が神戸市は幸にして、背面に一帶の山脈を負ひ、前面に茅渚の浦曲が展開され、自然の恩惠の最も豊かな都市であるから、この大自然の美をそのまゝ取入れ、市民をして繁劇なる巷から逃れて、自然の恩惠たる田園趣味を味はふ事が出來うるやうに計畫することは、市民の保健上から言つても、また市の繁榮上から見ても、有益な事だと考へられる。かの諏訪山を開拓して公園を造り、山上市街を造らんとする計畫の如きは、たしかに適當な施設であると思はれるのである。

神戸市と田園都市

## 二五、神戸市の都市計畫

名古屋の叔父さんに久しぶりでお眼にかゝりました。叔父



さんは都市問題に興味を以て研究していらつしやるので、都市計画について色々お伺ひして益を受けました。

都市計画  
區域

「叔父さん、いよく神戸も大正十一年四月に内閣總理大臣の認可をうけて都市計画區域が決定しました。」

「結構なことだ。ちよつとその計画圖をお見せなさい。」

「これで如何でせう」

「有難う。」

「この計画圖で見ると、將來の神戸市は西は現在の市域通りですが、東は武庫郡御影町から、魚崎町西郷町本庄村本山村住吉村六甲村西灘村の八町村までと、外に山田村の字一里山も加へた區域を含むこととなります。」

「ざつと二倍はあるね」

都市計画  
の意義

「さうです現在の神戸市が二五方哩で、都計區域が五一方哩ですから二倍以上になります。叔父さん、我々はよく都市計画といふことを口にしますが、正しい意味は、どういふことなんでしょう。」

「つまり都市には多くの人が集つてゐるので、色々の弊害が起りやすい。これを除き去つて永久に公共の安寧を維持し、市民の福利を増進せんとするために行はれる施設をいふので、主として交通衛生保安經濟等について行はれる。もとよりその實行にあたつては、最新科學の知識を應用して、都市永久の繁榮をはかることは言ふまでもないことなのだ。」

「世間では、都市計画といふと、道路の擴張だけのやうに考へてゐる人が多いやうでございますが。」

地域制

住宅區域  
商業區域  
工業區域  
未指定區  
域  
未指定區  
域は種別  
の未だ決  
定しない  
ものない  
ふ

「さういふ素人考がなか／＼多い。しかし都市計畫區域を住宅區域・商業區域・工業區域・未指定區域などに分けて、住宅地は安静で住心地がよくて危険の少い所を指定し、商業は取引の便利な所で行はせ、商店をこゝへ集めるから商業が益、繁昌するし、また工場は工業に便利な所へ集めて生産能率を高めよう」と計畫してあることから考へても、都市計畫の目的はほゞ分るはずだ。」

「なるほどお話をきくと、よく分ります。神戸も大正十三年三月にいよ／＼地域制を決定しました。ところで都市計畫でする仕事を具體的に説明すれば、どういふものが含まれてゐますか。」

防火地域

「まづ第一は防火地域を定めて、その中で建物を新築・改増築又

は移轉する場合には、すべて防火構造にしなければならぬ。その構造については、市街地建築物法に詳しく規定がしてある。第二は交通を便利・安全にすることだ。大小縦横の道路を敷設しなほして、交通の便利と安全をはかり、運河を通じ、河川を修理し、郊外電車をもつと完備する事も必要だし、又市内を貫通する鐵道は高架線もしくは地下線にしなければならぬ。」

高架線

「神戸もいよ／＼灘から鷹取まで高架線にすることに定つてゐます。大正十八年には出来るといふ話です。」

「それから神戸などは、言ふまでもなく港の大修築が大切だ。なほ上水道・下水道の設備を市の外へもひろげ、公園・運動場・墓地・火葬場・市場・塵芥焼却場なども、その位置や設備を十分工夫

して、市民の健康を完全に維持しなければならぬ。神戸でも色々計畫をしてゐるやうだから、その中にそれぞれ實現することとなるだらう。」

「大分調査が進んでゐるやうですから、その中に都計事業も着々進行させよう。」

「しかし何しろ大事業だから、市民も十分援助しなければ成功が困難だ。殊に金だね。それで道路や廣場が擴張されたり、新設されて附近の土地の價格が上るから、その利益を受ける土地所有者に、その工事費の一部を負担させるやうになつてゐる。」

「なか／＼市民の負擔も容易なことではありますまいが、都市百年の長計から見ると、甘んじて忍ばねばなりませんね。」

市民の諒  
解と援助

### 市勢の現況

#### 二六、工業

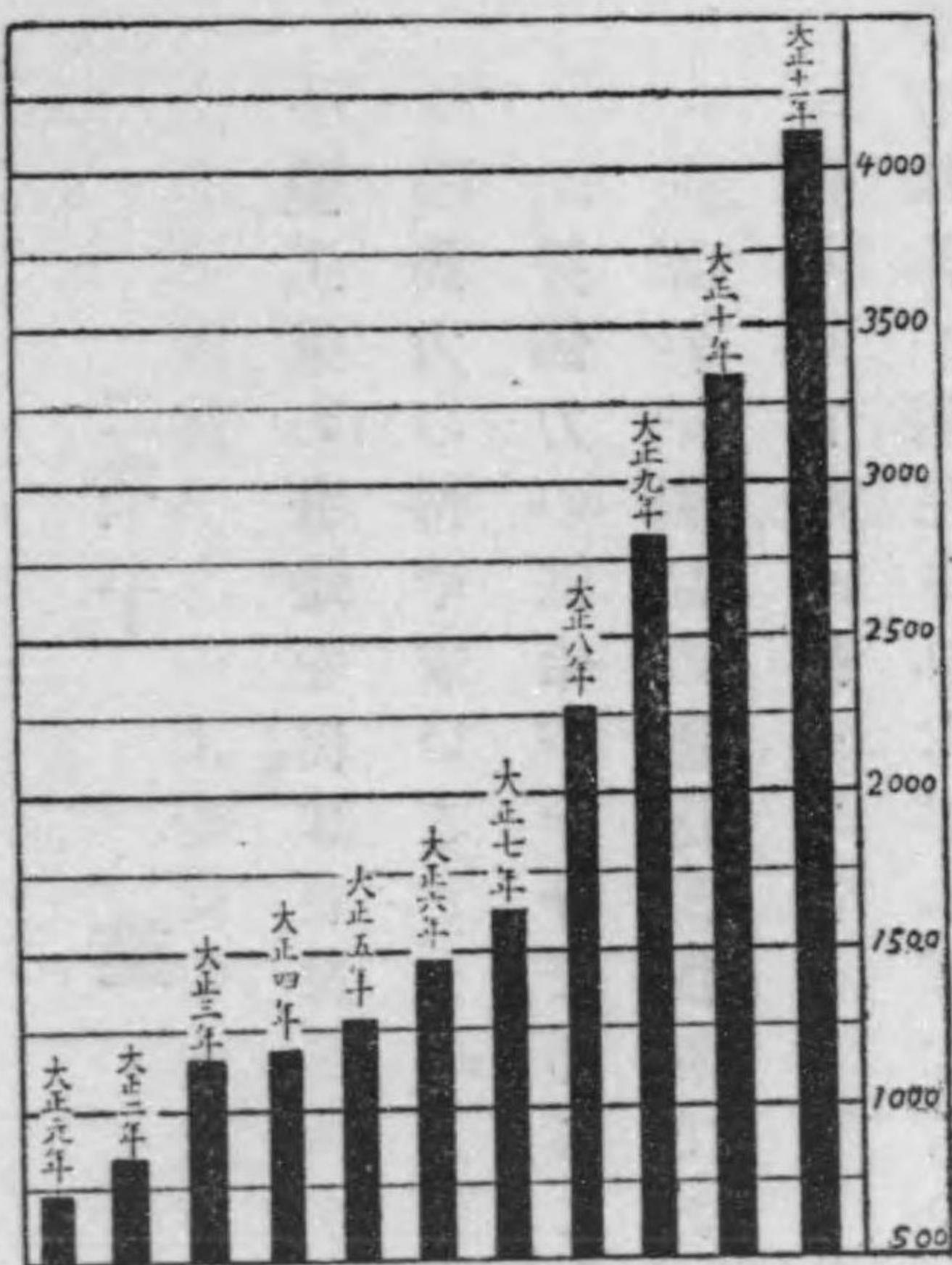
一體工業の發達を促すには、

- 一、動力の得やすいこと、
- 二、勞働力の供給が十分であること、
- 三、原料や製品の運送が便利であること、
- 四、好い市場を控へてゐること、

等の條件が満足されなければならぬが、神戸は良港の御蔭で、幸にこれらの條件を殆ど備へてゐるから、本市の工業が日清・日露の二大戦役を経て著しく發達し、最近世界の大战時代に、造船・精

神戸市と  
工業

糖・紡績・化學工業などが驚くべき大發展をした。大正十一年末の統計によると、神戸市の工業はざつと次のやうである。



工場数……四一一二  
 職工数……五八六二三人  
 工産額……

二四九九一萬圓

その中、機械工業……

九〇六四萬圓

化學工業……

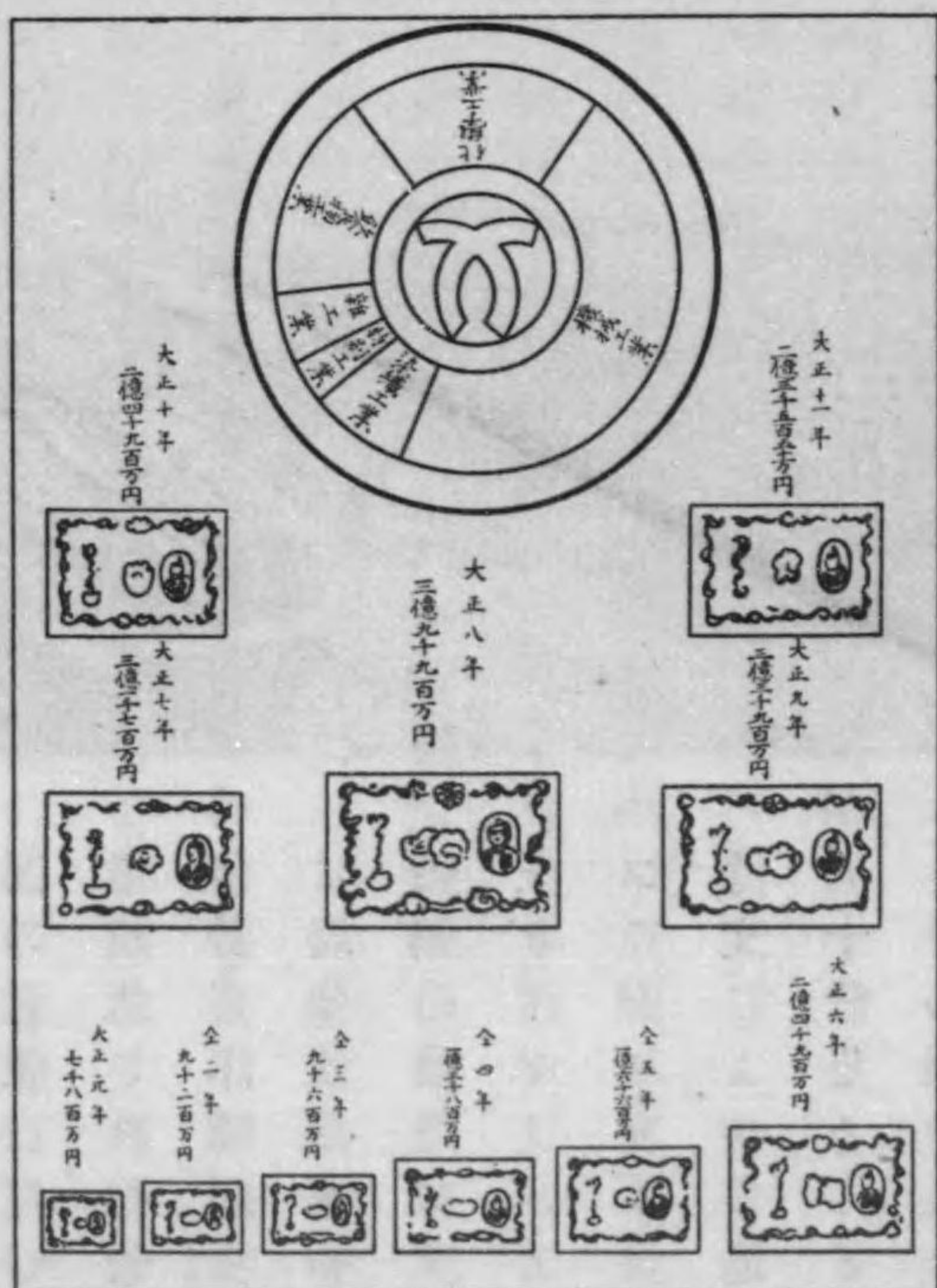
五〇二九萬圓

飲食物工業……四一八一萬圓

機械工業中で工産額の最も多いのは造船業であるのも、神戸

工場数

工産額  
所 川崎造船

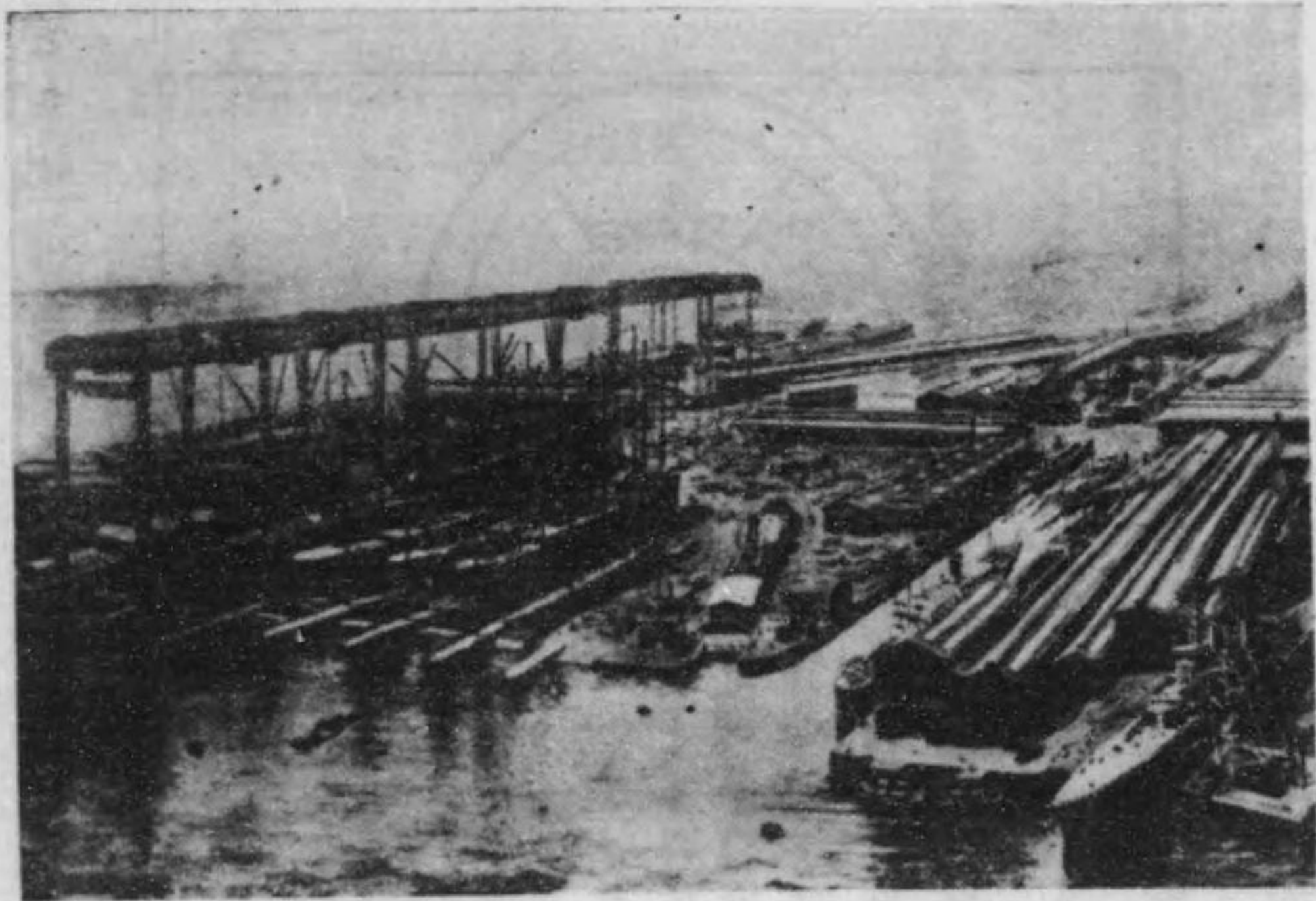


としては不思議ではない。その金額は約四五六四萬圓であつて、その大部分は株式會社川崎造船所と三菱造船株式會社神戸造船所の造船工業である。

川崎造船所は、我が國

造船業の恩人川崎正藏氏の始めたもので、もとは氏の個人經營

川崎造船所



であつたが、今は資本金九千萬圓の會社になつてゐる。こゝで建造された帝國艦艇は戰艦伊勢、巡洋戰艦榛名等五十餘隻に達する。商船その他各種の船舶の建造はすこぶる多數に上り、イギリス、アメリカ合衆國、フランス、ロシアなど諸外國の注文によつて造つたものすら五十餘隻あるといふ。六千噸までの船を入れられる船渠が一つ、四千噸から三萬噸までの

三菱造船所

船を建造しうる造船臺が六つある。

市内のごここからでも見えるガントリークレーンは、三萬噸の建造能力を有する第四船臺に設備されてある。

川崎造船所はひとり造船ばかりでなく、船の修繕はもちろん、各種の電氣機械、兵器、飛行機、自動車、機關車、客車、貨車などの製造、その他種々の事業を手びろくやつてゐる。

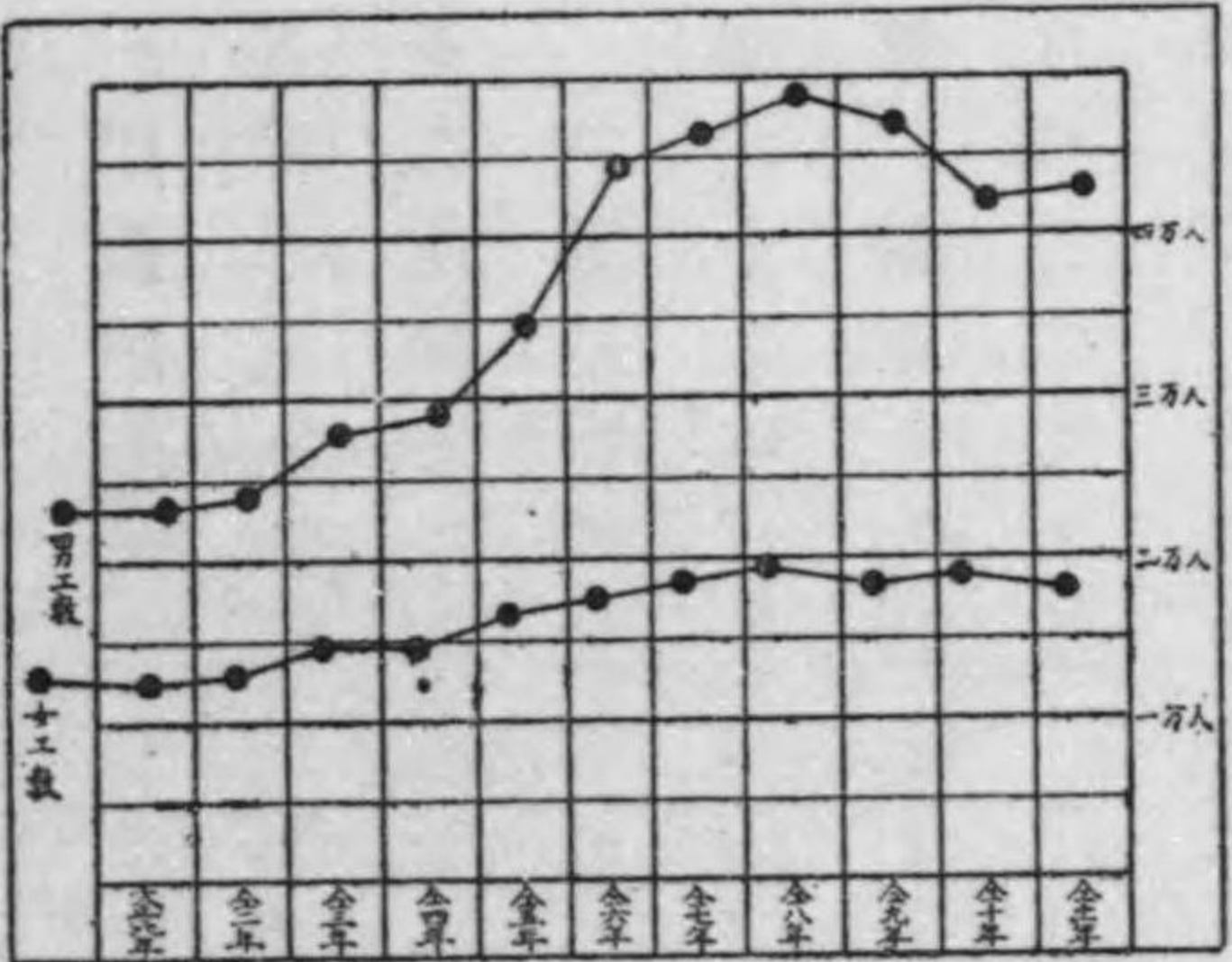
三菱造船株式會社は岩崎彌太郎氏が始めた汽船會社に起り、明治十七年に政府の經營したゐた長崎造船所をうけついで次第に發達し、明治三十八年には神戸にも造船所を設けるやうになつたのである。川崎造船所と相並んで、大船巨舶の建造に内外の信用を博してゐる。こゝには浮船渠が三つあつて、七千噸、一萬二千噸、一萬七千噸の大船を數時間に浮揚させることが出

来る。この造船所もまた各種の電気機械その他機械類の製造

業をも併せ経営してゐる。

化学工業ではゴム工業とマツチ製造業とが盛んである。ゴム工業は最近著しく進歩したもので、工場数一四三に及び、中にもダンロップ護謨極東株式会社東神ゴム工業株式会社等が名高い。すべてで年産一五四四萬圓に上つてゐる。次いでマツチ製造業は工場数が三四、殊に日本燐寸東洋燐寸帝國燐寸播磨燐寸等の製造所が有名であつて、全工場で年額一〇九〇萬圓を産し、販路は支邦から東洋全部に行渡り、南洋方

化学工業  
職工數



面にも及んでゐる。

これらの外に神戸では飲食物工業中の精糖業、染織工業中の紡績業並びに、造船所の所で併せ記した車輛製造、機械製造及び金屬精鍊業も年産類の多いものであつて、神戸市の繁榮に大いに貢献してゐるものである。

### 二七、教 育

#### □ 弟 へ

麥の熟れる芳烈な香の浮動した田の中には、もう所々ひた／＼と水をたゝへた苗代が出来て、あのK川の流が、新緑の色を増したS山の裾を洗うて、M淵となつてゐる邊に、盛んに鮎狩の行はれる頃だね。

もう麥刈が始まつたか。お父さんや兄さんは忙しうなるね。お母さんが「今年はどうしよう。」と言つて居られた夏蠶なつこの世話を、どうなさるか知らん。お前はたつしやで勉強して居るだらうね。

早いものだ。私が神戸へ来てから、もうかれこれ半年になる。店の様子はその當時委まはしく書いて送つた通りだが、何しろ濠洲相手の雜貨貿易であるから、この間すでに冬向の商品悉しか皆を仕向けた様なわけで、一時は随分忙しくて困つたが、今はひまだ。

港へ船が入つたのか、汽笛がポーと響く。うなるやうに、何物かの共鳴を求めてゐるやうなあの響を聞く度に、私は消えて行くその音を追うて遠く故郷の事を懐かしく

思ふ。さうしていつも「お前は體が弱いから百姓は出来まい。商賣人になるのがよからう。」と言つて、私が神戸へ出る事をお父さんが許して下さつた夜の事を思ひ出すのだ。

「お前たちのやうな時代にうんと勉強して置かなければ。」小僧から仕上げて今日貿易商として相當名の知られた主人が、いつもかう言つて勸めて下さるので、私は店の用さへすめば、夕食もそこくにして市立兵庫商工實修學校の商業科へ通つてゐる。卒業後は更に高商の夜學部に進みたいと思つてゐる。お前は「頭腦がよい」と、度々人にほめられ、男が三人もあるのだから、一人は勉強させてもよい。」とお父さんも言つて居られることだから、お前

だけはうんと勉強してほしい。ついでには刺戟しげきに乏しい田舎では、勉強に勵みもつかないだらうから、神戸へ出て来てはどうか。こちらの小學校へ轉學し、高等科一年の残り半分を受験準備に充て、中學から高工へでも、或は高等學校を経て大學へでも、お前の好きな方へ進んで行つたらよいと思ふ。幸ひ三の宮の叔父の家近く、鐵筋コンクリートの新築小學校がある。中學校も縣立のが三つもあるし、官立の専門學校には、神戸高等商業學校と神戸高等工業學校が設けられてある。凡てに完備した都市の學校で、教育を受ける方がお前の將來の爲によいと思ふ。よく御兩親や、兄さんに相談して、早く決めたらどうか。追々暑さも加はつて不順な季節に向ふから、身體

中學校  
神戸高等  
商業學校  
神戸高等  
工業學校

を大切に勉めなさい。お父さんを始め、みんなによろしく傳へて下さい。

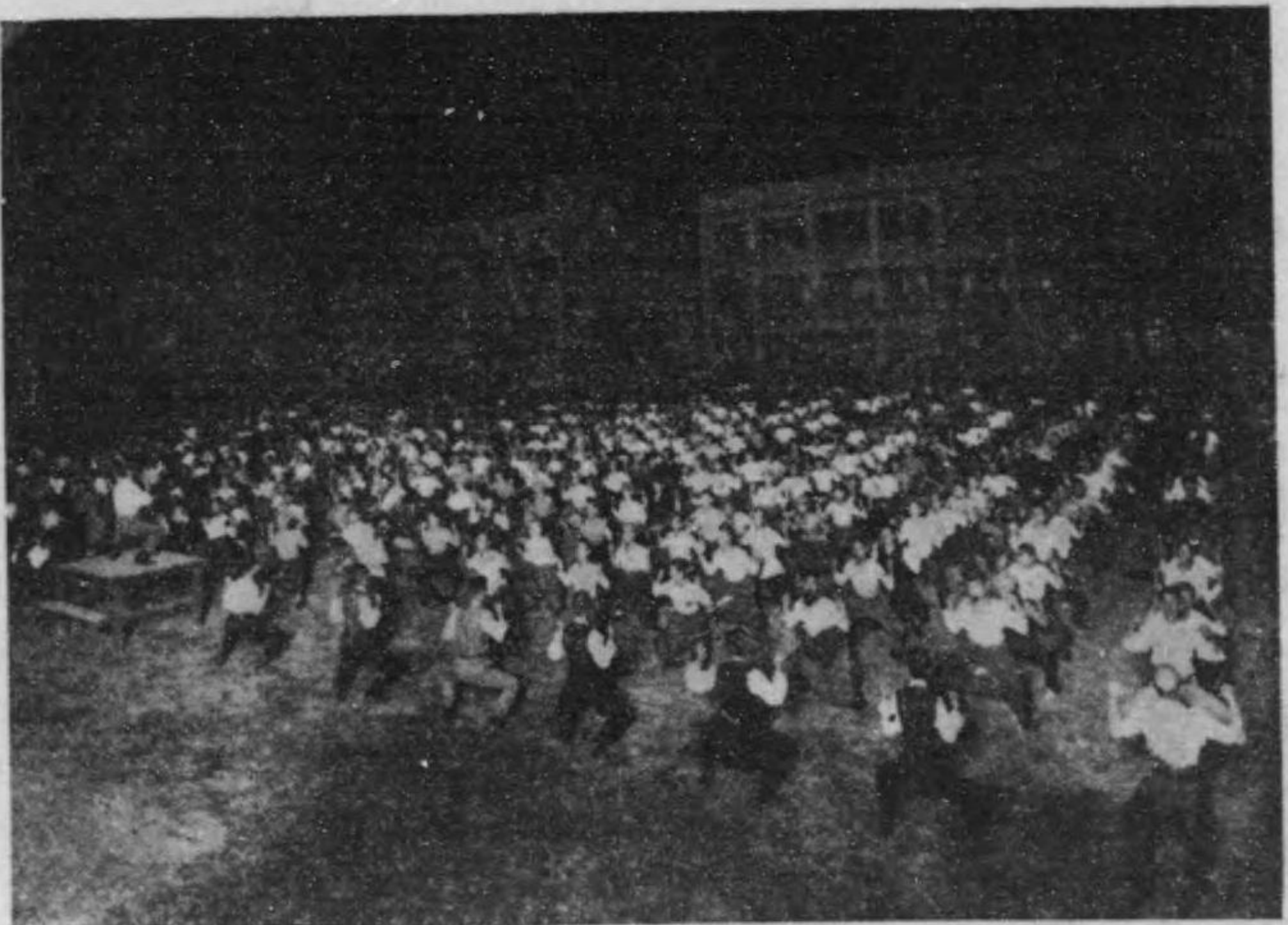
□ 友へ

この繪葉書は、僕の學校の先生生徒がみんな一しよに國民體操をしてゐるところを寫したものです。随分壯觀でせう。

神戸にはこの種の實修學校が九つ(神戸・湊川・林田・賁合・湊山・兵庫・須佐・若菜・東須磨)あつ

實修學校

兵庫  
實修  
學校  
國民  
體操



教育



て、五千二百人餘の生徒を收容してゐます。小學校卒業後、直ちに商工業に従事する青年の爲に必要な知識技能を授け、立憲國民としての修養を積ませるといふのが、これらの學校の本旨です。先生も生徒も大變熱心ですから、成績はすこぶる良好で、全國に於ける實業補習教育の模範として推奨されてゐます。郷里の補習夜學も、何とかしてもう少し盛んにしたいものですね。

## □ 舊 師 へ

先生。その後は御無沙汰に打過ぎまして、本當に申し譯がございません。いつも御壯健でいらつしやいますか。先生がにこ／＼と元氣さうな顔をして、教壇に立つていらつしやる御姿が、今も眼の前にちらつきます。私はお

かげさまで至極たつしやです。追々店の様子もわかり、都會生活にも慣れて、毎日元氣よく楽しく暮してゐますから、どうか御安心下さい。

さて、餘り先生の御参考になるやうな事もあるまいとは存じますが、この間夜學で公民科の先生から聞いた事を本とし、それに私の觀察やら感想やらを附加へて、當市の教育の模様を概略御報道申上げたいと思ひます。御一讀下されば本望です。

學制が頒布はんぷされた明治五年には、僅かに五校、數百人の子弟を收容するに過ぎなかつた神戸市も、五十年後の今日では、市立小學校の校數が五十二、就學兒童は七萬一千餘人に達し、これに官立・縣立・私立の諸學校を加へますと、校

數百四十九生徒數實に拾萬に垂んとする盛況であります。しかし學校はまだ不足で、小學校は第一學年に二部教授を施し、中學校高等女學校の入學難は年と共にその激しさを加へて行きます。現に私の店のお嬢様などは、まだ尋常五年生ですが、毎日々々入學準備に忙殺されていらつしやいます。

申すまでもなく、神戸市のやうな大都會では、人口の出入が頻繁な上に、その増加がまた急激でありますから、これに應じて教育の施設を全うして行くといふことは、なかなか容易な事ではなからうと思ひます。しかし市は、なんでも神戸市の教育を、日本の大立關たる誇を傷つけない、りつばなものにしなければならぬといふ方針で、學校

大都市さ  
教育施設

小學校

の増設、設備の改善、内容の刷新、優良なる教育者の任用等に、銳意力を盡くし、着々成績を擧げて居られます。

私が神戸市へ來て第一に驚きましたのは、小學校の校舎のりつばな事でした。現今市内のあちこちにそびえてゐる鐵筋コンクリート三階建の宏壯な建築は、皆第一期の小學校大改増築工事に出來上つたものださうです。

しかし市はこれに満足せず、更に第二期の計畫を立て、既に市會の議決を経、近く建築に着手するとの事であり、ます。又家庭の事情で、晝の間に就學することの出來ない學齡兒童に對し、市は市内に二十二箇所の夜學校を設けて、卑近で實用的な普通教育を施してゐます。

小學校卒業後直ちに商工業に従事する青年の爲に、實修

市立の中  
等學校

夜學校

教育

學校が設けてある外に、市立の中等學校が、女子の爲には兩高等女學校、女子商業學校、技藝學校があり、男子の爲には三商業學校があります。その中の第二商業學校は、高等小學卒業者のために、晝間と同程度の夜間教育を施すことゝなりました。右の他、大倉山には一般市民の知識を高めるために市立圖書館が設けてあります。なほ市内には市立の外に縣立の中學校、高等女學校、工業學校、盲學校等があり、また關西學院神戸女學院を始め、中學校、高等女學校等多くの私立學校があつて、公立中等學校の不足を補つてゐます。

神戸市教育の今後の施設

神戸市の教育は、上述の通り、その成績は大いに見るべきものがありますけれども、しかし、仔細に點檢してみると、

教育費の負擔

尙幾多の缺陷があり、施設を要するものが残されてある。中にも、小學校二部教授の全廢、中等學校の増設、貧兒、英才、薄弱兒童の教育施設等は、何れも急を要するものである。と夜學の先生が言つて居られました。神戸市が、各種の教育事業に投じてゐる金高は、經常費だけで年々三百餘萬圓を算してゐます。しかも就學兒童の數は年々増加して止みませんし、義務教育年限延長の實施期は目前に迫つてゐますし、その上に幾多の改善を加へましたならば、市の教育費は今後まだ、膨脹して行くだらうと思はれます。しかし、なんと言つても教育は神戸市を繁榮に導く根本動力でありますから、教育費の負擔を厭ふやうな市民は、一人もなからうと思ひます。

先生にはどうか御身を大切に、村の教育の爲にお盡くし下さい。

### 二八、青年團と處女會

十一月五日快晴

今日は大倉山公園で、神戸市聯合青年團の發會式が舉行された。市内の各青年團は、團旗を先頭に隊伍を整へて、定刻の八時までに逐次會場に集合する。一發の號砲を合圖に開會を告げられると、一同が「君が代」を合唱する。團長代理の某助役が、皇太子殿下の令旨を捧讀し、ついで左の意味の訓辭を與へられた。「諸君、青年は人生の春であります。前途に洋々たる希望を懷いて何事にも勇往邁進するのが青年の特色であります。老

神戸市聯合青年團は大正十一年十一月に組織された

青年の特質

人は過去に執着して往時を語ることを好みますが、青年は將來を夢みて理想にあこがれるのが常であります。老人は過去に生き、青年は理想に生きます。これは老人が永き過去を有するに反し、青年は遠き將來を有するからであります。由來青年は直情逕行であつて、迂餘曲折を好みませぬ。純真で、開放的で、見聞するものは皆珍しがつて、勇んでこれを迎へる長所を持つて居る代りに、忽ちに去つて他に移るの短所をも持つてゐます。物事に熱し易くまた冷め易いのが青年の弊です。青年の薄志弱行は大いに戒めなければなりません。青年の青年たる所以は、實にその潑刺たる意氣にあるのです。たとひ火の中、水の底といへども勇んで飛込んで行く元氣にあるのです。これが爲に往々過失に陥ることもないではあ

りませんが、その半面に老成人のとても企て及ばない大事を成しとげる長所を持つてゐます。古來の偉人傑士は、多くその青年時代に於て大成の基礎を造つてゐます。殊に現代の如く民衆の勢力の盛んな時代に於ては、社會の改造は、どうしても諸君の如き青年の創造的努力にまたねばなりません。希はくば諸君、深く我が國體の本義を體し、當市の對外的地位に顧み、銳意日新の修養を怠らず、協同一致して大いに國家の進運と我が神戸市の發展に寄與せられんことを。こゝに神戸市聯合青年團の發會式に當り、一言所思を述べて諸君に希望する次第であります。

次いで兵庫縣知事商業會議所會頭等來賓の祝辭があり、天皇、皇后兩陛下、攝政宮殿下の萬歲、神戸市聯合青年團の萬歲を

三唱し、目出度く發會式を終へた。引續いて第二回陸上競技大會があり、家へ歸つたのはもう晩方であつた。

十一月六日晴

今日も心持のよい日本晴だ。

「兄さん、昨日の發會式はなかく盛會だつたさうですね。今日の新聞に詳しく出てゐます。寫真もいつしよに。」

「うん、盛會だつたよ。何しろ六十三團體、一萬三千餘人の青年の集だからね。」

「わたしは青年團も大いに必要だと思ひますが、この際、せひ神戸市にも處女會を設けてほしいと思ひます。いくら男子だけが修養しても、女子が修養しなかつたら駄目ぢやありませんか。」

處女會の  
必要

「そりやさうさ、青年の修養機關として青年團の設置が必要なのと同じ程度に、處女の修養機關たる處女會の設置が必要なのわけだ。市の青年團が可なり組織的に發達してゐるのに引きかへ、處女會が殆どその存在さへ認められないほどの現状であることは、なんとやつても遺憾なことだ。」  
今朝新聞を見て、妹とこんな問答をした。

二九、神戸市聯合青年團歌

|           |           |
|-----------|-----------|
| 綠滴る攝嶺の    | 山の靈膽にうけ   |
| 碧波輝く茅海の   | 水の神を胸にとり  |
| 生れ出でたる青年の | 結びは堅き聯合團。 |

|            |            |
|------------|------------|
| 東と西の文明の    | 潮よせ來る神戸港。  |
| 商工業の賑や     | 思想の波の小止みなく |
| 向上進歩の氣にみてる | 市の青年ぞ幸多き。  |

|            |            |
|------------|------------|
| 世の闇いかに暗くとも | 理想の星を仰ぎ見て  |
| 起てよ奮へよ諸共に  | 自治の心を磨きつゝ  |
| 一致協同ひたすらに  | つくせ市の爲國の爲。 |

大西利一氏作

三〇、社會事業

「社會事業とはどんな事ですか。」  
「一般公衆にあまねく社會生活の便益を受けさせようとして

營まれる事業です。たとへば公設市場公設食堂職業紹介所、共同宿泊所公設住宅児童相談所などがさうです。」

「近年、東京・大阪・神戸のやうな大都會で、特に社會事業をやかましく言ふやうになつたのはなせでせう。」

「御存じの通り、都會は生存競争の最も激しい所です。従つてめでたく月桂冠グイクラウンを手にした成功者も少くありませんが、それよりも悲惨な劣敗者や、落伍者の方が遙かに多いのです。もしこれ等不幸な人々をそのままにほつて置いたならば、劣敗者はいよゝゝ劣敗者となり、時として罪惡を犯し、疾病にかゝつて、都會は遂に不具者・廢疾者・惡漢・無賴漢の巢窟くわくとなつてしまふかも知れません。ですからこれ等不幸な人達の境遇に同情して、これを保護・救済することは、市民たるものゝ責任で

## 社會的施設

あり、又市民自らの安全と幸福とを圖ることにもなるのです。近頃社會事業が單なる恩惠の事業としてゝなく、共存共榮の理想を遂行すべき施設、社會共同の事業、市政の重要問題として取扱はれるやうになつたのは、全くこれがためです。」

「現今我が神戸市内に施設されてゐる社會事業には、どんなものがありますか。」

「随分種類が多くて、一般救恤・日用品廉賣・簡易供食・職業紹介・労働者紹介・労働者宿泊・婦人救護・産婦保護・児童診断・幼兒保育・養老・刑務終了者保護・癩療養等各種の事業に互たつてゐます。」

「公設市場や公設食堂はどこにありますか。又どんなことをするのですか。」

「公設市場は、東部・西部・中央その他九箇所こゝろに設置されてゐます。」

## 公設市場

公設食堂

いづれも直接には一般市民に廉價な食料品日用品を供給して便益を與へ、間接には市價の騰貴を抑へて物價の調節に功を奏してゐます。公設食堂は市の直營で、東部・中央・西部・葺合・兵庫の五箇所を設置され、安價で美味な定食等を至極手軽に供給してくれます。戶外労働者・通勤事務員等に對しては非常に大きい便益を與へてゐます。」

共同宿泊所

「共同宿泊所や職業紹介所はごうですか。」

「共同宿泊所は、市の東西二箇所にあります。安い宿泊料で、成年獨身の男子労働者に、便利で氣持のよい寢床を提供し、かつ宿泊者の職業保護・精神修養等に努めてゐます。職業紹介所は六箇所ありまして、一般に對するものと、日雇労働者に對するものとの二種に別れてゐます。前者は廣く一般の需

貧困者救助

要に應じて職業を紹介し、後者は専ら日雇労働者を目的として、あんかう・仲仕・土方・雜役・手傳等を世話してゐます。いづれも皆相當の成績を挙げ、失業問題の解決に貢獻する所がさぶる多いのであります。」

「貧困者を救ふ施設としては、どんなことがありますか。」

「自宅救助と引取救助との二種があります。ごちらも不幸にして貧困に陥り、しかも適當な扶養義務者のない氣の毒な人達に對して、一定の救助金と衣服を給與し、自宅に於て、又は神戸報國義會・神戸孤兒院等に引取つて、救濟を加へてゐるのであります。」

「公設住宅は。」

「公設住宅は、都市住宅問題解決の一方法として設けたもので、

公設住宅



児童保護  
事業

市立診療  
所

市内の小所得者に對して、便利で衛生的な小住宅を提供し、これもすこぶる便益を與へてゐます。」

「神戸市の經營してゐる社會事業は、もうそれだけですか。」

「いゝえ、まだ澤山あります。児童保護事業として、巡回産婆、児童相談所、児童保護調査會などの施設があり、中産以下の醫療施設として市立診療所の設があります。」

「神戸市以外の公私設團體の經營にかゝる社會事業には、どんなものがありますか。」

「それもなか／＼多く、それ／＼施療、幼児保育、養老、刑務終了者保護等に力を盡くしてゐます。神戸市の社會事業はこのやうに極めて多種多様であります。今日の状態を見ますと、まだ／＼十分ではありません。都市の社會問題を解決するに

はなほ前途遼遠であると思はれます。」

### 三、衛生的施設

或日の夕暮。AとBとの會話。

「西山君の奥さんはたうとう腸チフスで死なれたさうだ。」

「氣の毒な事をしたね。」

「一體近頃は馬鹿に病人や死人が多いやうだが、どうしてだらう。現にこの統計を見給へ。最近十箇年間に於ける我が國六大都市の平均死亡率が千人につき、東京市では十九人六分、大阪市では十八人一分、京都市では一九人四分、横濱市では十六人三分、名古屋市では十八人三分であるのに、神戸市だけが二十一人二分の高率を示してゐる。」

六大都市死亡率比較表

| 年次    | 東京                | 大阪                | 京都                | 名古屋               | 横濱                | 神戸                | 平均                |
|-------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 明治43年 | 21.3 <sub>A</sub> | 18.2 <sub>A</sub> | 20.7 <sub>A</sub> | 17.0 <sub>A</sub> | 13.9 <sub>A</sub> | 21.4 <sub>A</sub> | 18.8 <sub>A</sub> |
| 同 44年 | 20.6              | 18.3              | 20.5              | 16.4              | 15.0              | 19.5              | 18.4              |
| 大正元年  | 18.7              | 16.6              | 18.2              | 16.3              | 13.2              | 17.6              | 16.8              |
| 同 2年  | 19.1              | 15.8              | 18.3              | 13.9              | 17.3              | 20.2              | 17.4              |
| 同 3年  | 18.4              | 17.1              | 20.4              | 15.3              | 15.7              | 22.1              | 18.1              |
| 同 4年  | 18.5              | 17.2              | 19.1              | 18.4              | 15.3              | 20.9              | 18.2              |
| 同 5年  | 18.0              | 18.0              | 18.2              | 20.7              | 16.0              | 20.3              | 18.5              |
| 同 6年  | 19.0              | 17.9              | 16.0              | 19.5              | 16.6              | 21.6              | 18.4              |
| 同 7年  | 20.9              | 23.0              | 23.7              | 25.2              | 20.2              | 26.5              | 23.3              |
| 同 8年  | 21.4              | 19.1              | 18.9              | 20.3              | 19.8              | 21.5              | 20.1              |
| 平均    | 19.6              | 18.1              | 19.4              | 18.3              | 16.3              | 21.2              |                   |

「なるほど。」  
「今これを外國の死亡率に比べて見ると、ロンドン・シカゴ・ブルツセルなどは十四人以上だ。ニューヨークの如きは僅々十二人強に過ぎない。神戸市の死亡率を八十萬の市民に割當てる、夜晝よるを通じて一時間毎に二人餘の人が、無常の風に誘はれて行く割合だから、本當に恐ろしい話さ。」

上水道

「どうして神戸市だけ、そんなに死亡率が高いのだらう。」  
「さあ、それにはいろいろの事情があるだらうが、要するに市の衛生状態の不良、市民文化の程度の低いといふ事に歸着するのだらう。都市の死亡率は、一國文明の程度を計るバロメーターだと考へることが出来るからね。」  
「それにちがひない。」

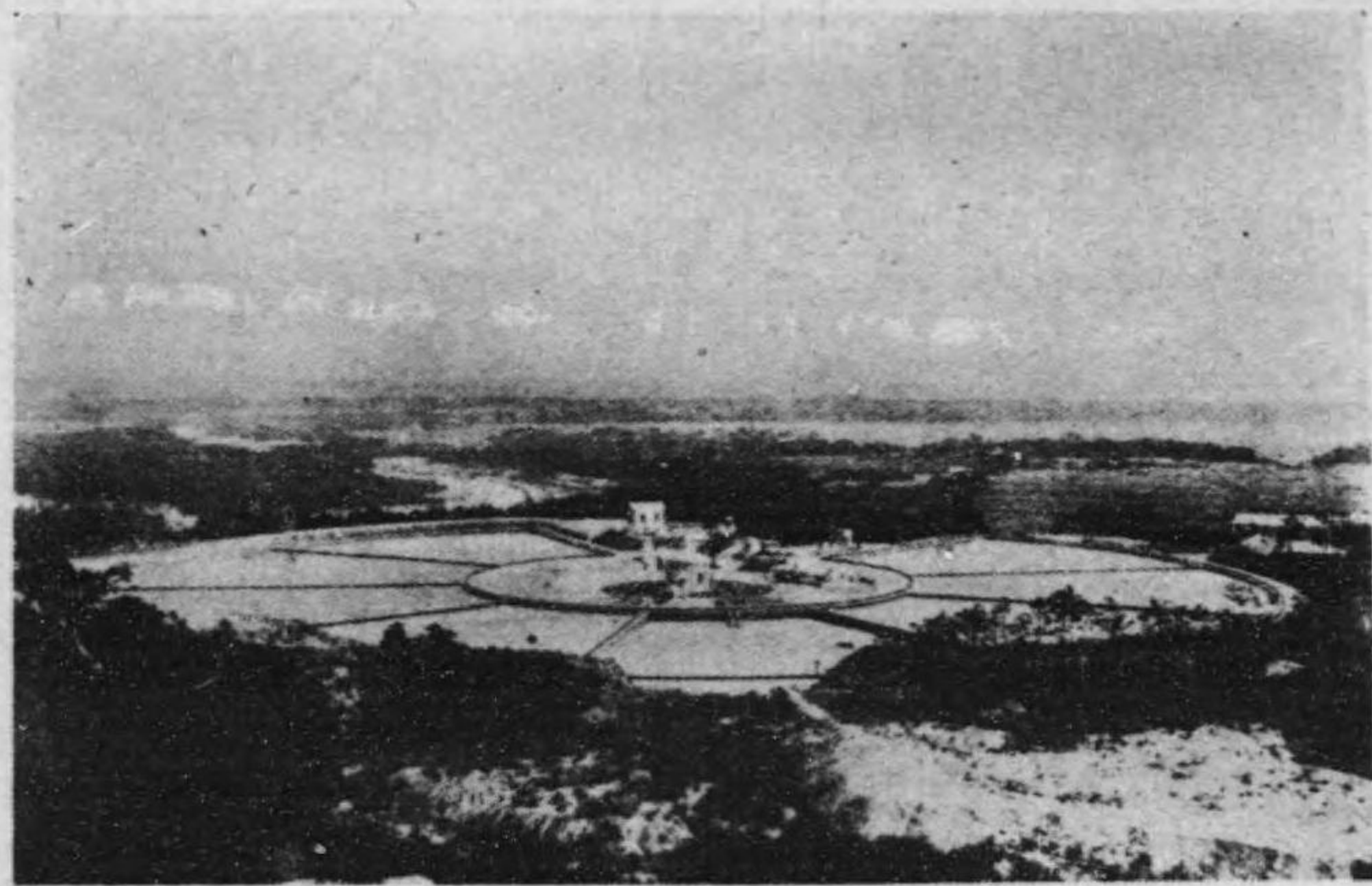
「先づ第一に上水道と下水道とを良くするんだね。神戸市は先に千有餘萬の大金と、十年に餘る日数を費した水道擴張工事が竣工して、今では布引烏原せんがら千刈せんがらの三箇所せんがらに貯水池を持ち、一戸一日の平均使用水量を二十五立方尺と假定すると、約十萬餘戸に給水し得る能力を持つてゐる。しかし戸口の増加に伴なうて、だんぐ給水能力に不足を告げ、降雨の少い夏季

などには、使用水量の節減を宣傳しなければならぬ現状であつて見れば、とても都市計畫區域全體に給水するだけの餘裕は持つてゐない。だから全區域に十分な給水が出来るやうに、市當局では目下第二回の擴張計畫を企て、ゐるわけさ。」

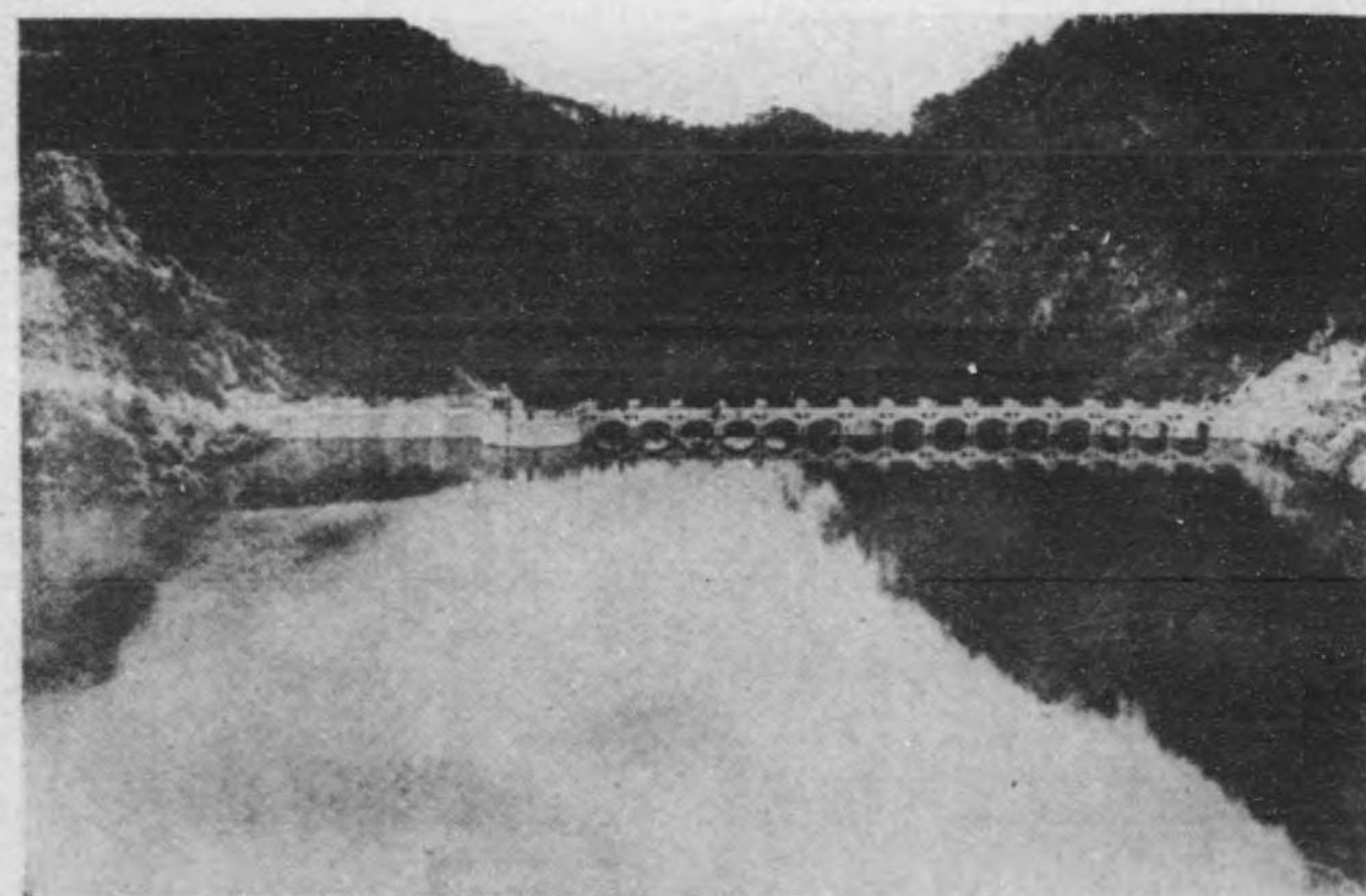
「その擴張計畫の内容は。」

「僕も詳しいことは知らないが、何でも千刈貯水池の堰堤えんていを二十尺かさあげ嵩上して取水量の増加をはかり、十六萬一千二百戸に給水し得る設備とし、なほ將來二十三萬六千戸になる日があることを豫想して、これに對する擴張の餘地を残して置く計畫ださうだ。經費の豫算は一千六百萬圓で、大正十四年度中に起工し、向ふ五箇年間の繼續事業として竣工させる豫定らしい。」

第二回擴張計畫



上が原浄水構場



千荷堤堰内面

下水道

「上水道の必要なことは誰にもわかるが、下水道はあまり人が氣をつけないから困るね。」

「そこなんだ。下水道の必要は決して上水道の必要に劣らないのだが、世人はあまり注意しない。市の都市計畫部の話では、下水道が完成すると、現在市民の死亡率を千人對十五人まで低下させることが出来るさうだから、都計が完成した曉には、人口が百萬人になるとして、一箇年に六千人の生命を救助することが出来るし、これらの人々の勤勞所得金額、ざつと一千七百二十八萬圓だけ、國の富が増すわけださうだ。我々は神戸市の爲に、一日も早く下水道の完成を望まざるを得ない。それから僕は同時にまた公園設備の充實を叫びたいね。人口の稠密な都市生治に於て、市民の遊戯場となり、元氣の源泉

となるものは、何と言つても公園なんだから、公園は都市生活に於ける必須條件だ。これを贅澤と考へるのは全く物の分らない人だ。」

「同感々々。」

「現在、神戸市の公園は皆設備が極めて不十分だ。大正十年の内務省都市計畫局の統計によると、神戸市の公園面積は市の全面積百に對する〇・四八にしか當つてゐない。人口一人當りの公園面積は〇・〇八坪だ。これを他の五大都市に比べてみると、公園對市面積百分率に於て第五位、人口一人當り公園面積に於て第四位にあるといふ話だ。大規模の公園でなくともよいから、せめて市民に温い日光と清鮮な空氣とを供給し、子供の爲によい遊戯場だけでも十分に欲しいと思ふね。」

## 公園

「是非さうしたいものだ。」

「神戸市も現に、塵芥の掃除だとか、汚物や尿尿の搬出だとか、撒水だとか、捕鼠の買収だとか、東山病院、屯田療養所、屠場、火葬場、墓地の經營等、いろ／＼の衛生施設をしてをり、金も随分使つてゐるが、かう死亡率が高くては、市民はなか／＼安心が出来ないわけだ。神戸市は今後もつと／＼衛生施設の充實に努力しなくてはならぬ。」

## 三、市營事業

「近世の都市は、一面から言へば公共的配給を目的とする一大會社であります。もちろん支配とか駆引きとかいふやうな意味の政治が、多少は市政にも存在することは事實であり、また市

近世都市  
の性質

會の中に相反せる種々の利益が代表されてゐる以上、政治の必要なこともまた明白な事であります。しかしそれにも拘らず、市政の大部分は政治ではなくして、最善の意味に於ける事業の經營であります。」とは、我が神戸市に於けるピアード博士講演の一節であるが、たしかに一面の眞理を穿つた名言である。我が神戸市が市民の教養を高め、都市經營の眼目たる衛生、便利、保安、美觀等の要件を満たし、市民の福利を増進し、その繁榮をはかるためには、種々雑多の事業を經營しなければならぬ。現今神戸市が營んでゐる事業には、前に記した教育事業、社會事業、衛生的施設の外には、なほ市電氣局の管理する電氣事業がある。

## 電氣事業

電氣事業は、その規模の大なるに於て、市營事業中の第一で、市全豫算の約半分を占めてゐる。始め市財政の

## 電燈

關係上、私設會社に委ねてゐたのを、大正六年に買收して市營としたものである。

神戸市に始めて電氣事業が起つたのは、明治二十一年で、神戸電燈會社の經營であつた。當時は點燈數僅かに六百餘、一箇年の収入は二千八百圓に過ぎなかつたさうであるが、今日では約四十七萬燈、收入四百萬圓に上るやうになつてゐる。

神戸電燈會社は、明治三十九年三月になつて、電力の供給を始めたが、その馬力數は僅かに二十九、一箇年の収入は九千八百圓であつた。然るに今日では、約二萬二千馬力、収入は二百五十四萬圓に達してゐる。

我が神戸市中を始めて電車が走つたのは、明治四十三年の四月一日であつた。神戸電氣鐵道株式會社が特許を得て設けた

大正十一年三月末の統計による

## 電車

ものであつて、營業哩數は春日野兵庫間三哩五十七鎖チェーン、一日の乗客は三萬二千人、収入は千二十圓に過ぎなかつた。然るに大正六年八月市營に移つた當時には營業哩數は七哩、一日の乗客は九萬二千人、収入は二千八百圓に増加し、更に大正十一年三月末には營業哩數は十一哩に延長し、一日の乗客は十七萬五千人、収入は八千六百圓を算するやうになつた。

その點燈數に於て、或は動力に使用する馬力數に於て、はた又電車の營業哩數、乗車人員收入等に於て、我が神戸市の電氣事業が如何に長足の進歩をなしたかは、以上の數字によつて容易に了解することが出来るであらう。電氣事業の如き市民の日常生活に缺くことの出来ない文明的施設は、今後市民の努方によつてもつとゞ發達させたいものである。

市立生糸  
検査所

なほ市營業事業として特記すべきものは、市立生糸検査所のことである。大正十二年八月關東大震災の結果、我が國唯一の生糸輸出港であつた横濱港が潰滅くわいめつし、その貿易設備を利用することが出来ないやうになつたため、市は直ちに生糸検査所の設置並にその經費九萬圓を決議し、應急施設として税關監視部の上屋に借入機械を据付け、十三年一月から輸出生糸の検査を開始した。ところが豫想以上の検査申込があり、當初計畫の規模ではとても當業者の申込に應じきれぬことがわかつたので、十三年度に更に經費を追加し、規模を擴張して現在の検査所を設けたのである。

### 三三、交通機關

都市と交通機關

都市の交通機關は、これを人體に喩へると血管のやうなものである。もし交通機關が不備であつたならば、血液の循環が順調でない人と同様に、その都市はとても十分な活動を望むことが出来ない。

現今我が神戸市に於ける陸上交通機關の主要なものは道路、電車、汽車、自動車などである。

その中で、道路は、國道、縣道、里道を合せて總延長三十三萬一千五百間に達し、主要道路はアスファルトを以て舗装をしてある。しかし路面の整理が行届かないために、不便を感じる場所も少くないから、一日も早く路政の大方針を確立して、改良工事を實

道路

電車

施しなければならぬ。

神戸市が交通機關の一として電車を經營するやうになつたのは、前に述べた如く、大正六年八月以降のことであるが、營業哩數は、大正十一年三月末に於て約十一哩に及び、これに第二期の未成線四哩と豫定中の第三期線七哩を加へると、近き將來に於て、約二十二哩の延長になるわけである。市外には、兵庫電氣軌道株式會社の兵庫、明石間、阪神電氣鐵道會社の瀧道、大阪間がある外、阪神急行電氣軌道會社は上筒井より大阪、伊丹、寶塚に至る三線を敷設してゐる。右三會社の線路を合せて、大正十年度には總數六千二百七十餘萬人の乗客があり、七百六十萬圓の收入があつた。神戸を中心として、如何に交通往來が頻繁であるかを察することが出来る。



## 鐵道

鐵道には、神戸驛から東の方、大阪、東京方面に至る東海道線と、西の方、岡山下關方面に至る山陽線とがある。兩線に於ける三の宮、神戸、兵庫、鐘紡前、和田岬、鷹取、須磨の七驛を通じて、大正九年度には八百三十八萬六千餘人の乗客と、八百三十三萬三千餘人の降客があり、その乗客賃金は五百三十三萬餘圓に達した。

## 高架鐵道

市内の縦貫鐵道が地上を走つてゐることは、到るところで他の交通線路と交錯し、交通上多大の障害を來すものであるから、大正八年市内縦貫高架鐵道を敷設する計畫が立てられ、來る大正十八年頃には、灘驛から鷹取驛まで全部出來上る豫定である。これが出來上ると、踏切の危険もなくなり、神戸市中の交通は一そう便利となるに違ひない。

## 海岸線の敷設

右に述べたやうに、市内を貫通する東海道線が高架式に改築

されるので、一般貨物や鐵道用品の輸送を一そう便利にするため、新に海岸線が敷設されることゝなつた。この鐵道は、神戸税關構内の鐵道線路から右の方へ分れ、徑間百八十呎の橋梁で船溜の上を横ざり、京橋筋を経て、内務省埋立地先、税關用地及び内務省計畫埋立地先を通り、神戸驛構内に達するもので、大正十四年度に着手し、翌十五年度に完成するはずである。

## 三四、財 政

我が神戸市が市民に對して水や電力を供給し、學校、病院などを設け、諸種の社會事業を行ふなど、市政諸般の施設を爲すことが出来るのは、皆市民がこれに要する經費を分擔するからである。つまり市民は、その懐から資力相當の金を出し合つて、市政

の當局者に、諸種の施設を委託してゐるやうなものである。故に市民は、その出し合つた金が如何に用ひられてゐるか、市の財政は目下如何なる状況にあるかといふことを、十分心得てゐなければならぬ。これ市民たるものゝ義務である。

明治二十二年神戸市が始めて市制を實施した時、市の豫算は、歳入・歳出共に僅かに五萬二千六百餘圓に過ぎなかつた。然るにその後、世運の進歩と市勢の發展とに伴なつて、市の財政は著しく膨脹し、大正十一年度には、普通經濟だけでも、歳入二千二百二十七萬圓、歳出一千六百二十萬圓、これに水道電氣事業都市計畫事業等の特別經濟を加へ、更に區費をも合算する時は、歳入總額四千五百二十二萬圓、歳出總額三千五百二十三萬圓に達するやうになつた。ピアード博士は「市政の財政的方面」なる講演の

神戸市財政の膨脹

一節に於て「凡そ優秀な都市に於ては、その財政は膨脹する一方である。」と述べてゐるが、神戸市財政の膨脹も、つまり、神戸市が近代都市として優秀な資質を具へ、その發展進歩の速かなことを物語つてゐるものである。

普通經濟の歳入の重なる財源が、市税であることはいふまでもない。市税には、附加税・特別市税の二種と、他に都市計畫經濟に屬するものがある。附加税とは本税たる國税に附加して徵收するもので、地租割・所得稅割・營業稅割・取引稅割・賣藥營業稅割等の種類に分れてゐる。特別市税といふのは、市に於て別に税目を起し、賦課徵收するもので、家屋稅・歩一稅・營業稅・雜種稅・戶別稅等の種類がある。都市計畫經濟に屬する市税には、地租附加稅・營業稅附加稅・家屋稅の三種がある。

市税

## 市民の負擔

神戸市民の負擔する國稅市稅等一切の租稅額を合算すると、大正十年度に於て、一戸當り九十圓八十錢四厘、一人當り二十圓七十三錢六厘となつてゐる。これを他の六大都市の租稅負擔額と比較すれば一戸當りに於て東京大阪横濱に次ぎ、一人當りに於て大阪横濱に次いでゐる。

## 市債

最後に神戸市の財政上、市民の最も注意すべきことは、市債である。現在の神戸市は、水道・築港・教育・電氣・都市計畫等の諸事業の爲に、約八千萬圓の借金を背負つてゐる。言ふまでもなく、前記の如き大事業が完成した暁には、市民は子々孫々に至るまで、永久にその恩恵に浴することが出来るのであるから、その負擔もまた幾分子孫の肩に荷なはずのが至當である。従つて公債によつてその負擔を子孫に残すのも、一面から見れば當然なこ

である。しかし慎重な考慮を費さない、放漫な借金政策は都市を破産の状態に導く虞がある。今や我が神戸市は、一般財界の不況・關東大震災などの影響を受けて、空前の豫算編制難に陥り、借金の整理に苦しんでゐる。神戸市財政の現状は、決して市民の樂觀を許さない。市民たるものは勤儉力行、協力一致、よく市の財政を安固な基礎の上に置くやうに努めなければならぬ。

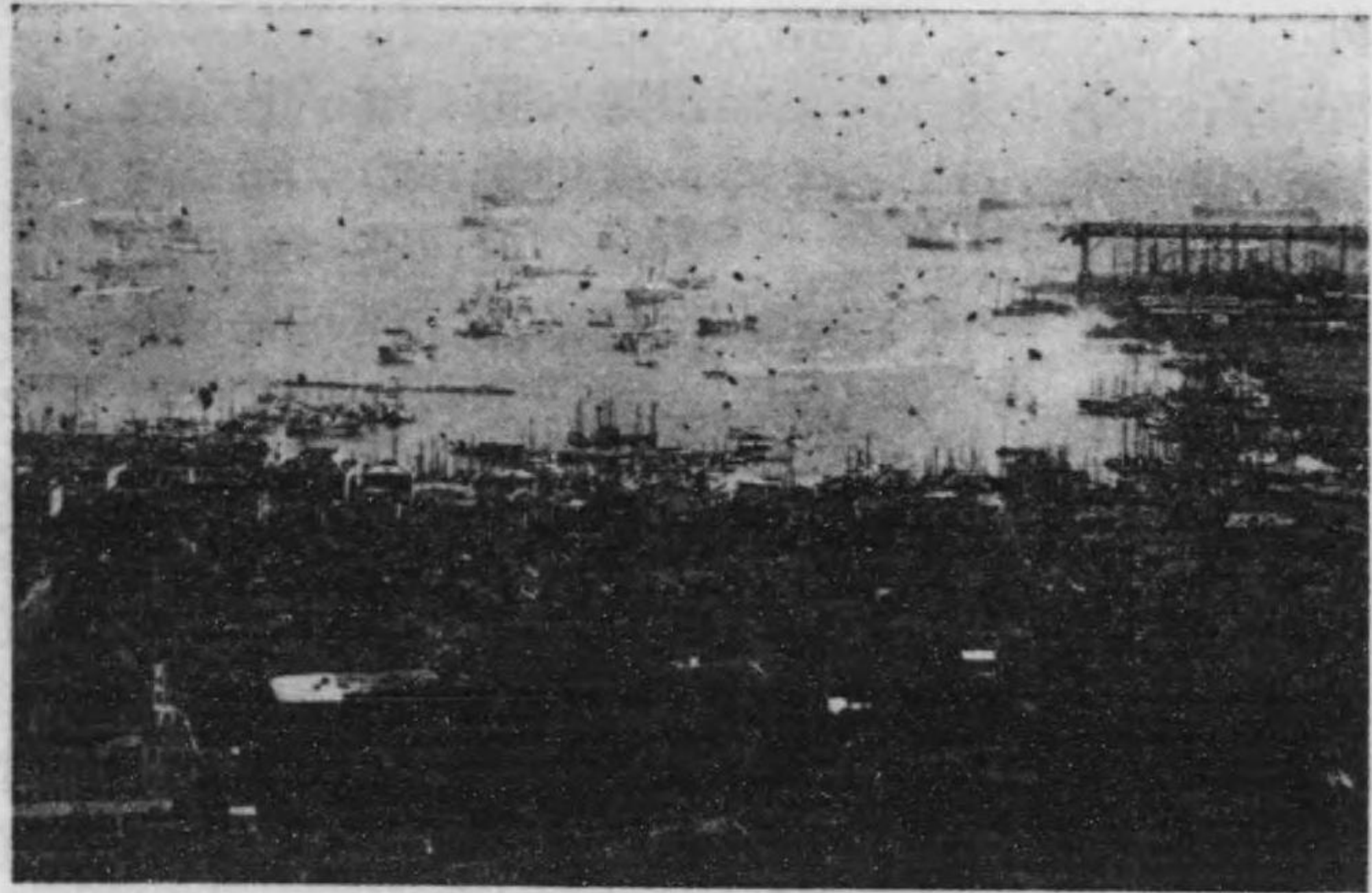
## 三五、神戸港の現況

某月某日

今日は日本晴のよい天氣であつた。幸ひ日曜で暇だつたから、午食後港の濱邊を散歩して來た。いつ見ても無数の船が帆柱を並べて碇泊し、煙は天をこがすほど濛々と立上つてゐる。

の神戸  
現況

港面積は  
三十三日  
正月三十一  
日勅令第一  
七〇七号  
を以て改定  
せらる



市勢の現況

この壯觀を見る時ぐらゐ、神戸市の  
の大なる力を感得することはな  
い。

見渡す限り廣々と新在家の東  
角から、正南よりも西へ十五度ふ  
れた直線と、和田岬から正北より  
も東へ八十四度三十四分傾いた  
直線との含む海面が神戸港であ  
る。六百萬坪あるさうで随分廣  
い。かく廣い神戸港も碇を下し  
に來る大小船舶馳せちがふボー  
トや舢舨で、風は吹かないでも波

繫船用突  
堤その他  
の設備

の神戸  
現況



神戸港の現況

のをさまるひまがない。

小野濱から繫船用突堤の方へ  
行つて見た。突堤は四つある。  
三千噸以上二萬噸以下の船なら、  
一時に十九隻を繫留させること  
が出来るといふ宏大な設備であ  
る。例の第一期築港工事はこの  
突堤が主なもので、外に防波用護  
岸堤や、埋立護岸壁や、物揚げ場上  
屋鐵道道路などがあつた。護岸  
壁は吃水九尺前後の小蒸氣船を  
繫ぐことが出来物揚げ場は専ら

解船の荷役に都合よくつくつてある。繫船壁の上屋は鐵造で、物揚げ場の上屋は木造である。船からあげる大貨物は電氣又は蒸氣装置の起重機で引揚げ、縦横に敷設された鐵道で運送するやうになつてゐる。

## 港の繁昌

横濱と相並んで日本一の大きい港であるから、出船入船の絶間がなく、小は石積の帆船から、大は數萬噸の大船まで、一年中の入港船數は、大正十二年で一萬七千餘隻、一千七百七十餘萬噸に上つたといふ。見よ一千六百間の繫船壁その他に集り繫いである數百隻の船。それらの船では世界到る所の國々から送られた商品の陸揚をなし、また六大洲から集つて來るさまざまの乗客が上陸する。その賑しき、忙しき、右往左往に、人は馳せ、車は走る。別を惜しむ人があれば、歸朝を喜び迎へる人もある。人

の聲、機械の音波の響。神戸中で最も生産的で、最も壯大な、最も忙しい所はと問はれたら、余は直ちにこゝに案内するであらう。最近一年の輸出貨物七十萬噸、輸入三百萬噸、また上陸者三十萬人、乗船者三十五萬人の多きに達してゐるさうである。

幸に税關の某氏にお目にかゝつた。ほんの挨拶だけを交換するぐらゐで、とてもゆつくりとお話を承るひまは無かつたが、この税關所轄の下に、旅客の送迎や貨物の運搬に働く通ひ船が三百六十隻、貨物船が二千五百隻、それに働く仲仕は一萬一千餘人もあると聞いて、その多いのに驚いた。

またお話によると、目下進行中の第二期工事は兵庫地先に於ける内地貿易の設備、濱邊通地先に於ける外國貿易に對する設備の擴張を始として、兵庫及び神戸海岸地先の埋立、物揚げ場、解

第二期築港工事  
修築の事  
業は正  
二大正  
陸上二  
は同設  
五年竣  
の豫定  
工十

船溜場の新設防波堤の延長などすべて本港の發展に資すべき施設が色々含まれてゐる。その工事豫算總額實に二千七百餘萬圓、これが完成の曉には、眞に世界屈指の大貿易港となり、優に今日より二倍の貨物を取扱ふことが出来るさうである。

夕陽が山に沈む頃、突堤のまばゆきアーク燈の光を浴びながら、有益な見學に緊張した心を抱いて歸宅した。

### 三六、貿易と商業

我が國が國際的競争に於て優越の地位を占め、國力を増進するためになすべき手段は色々あるが、中にも海運業の發達を圖り、外國貿易の伸張を期することが最も有效である。されば横濱・大阪等と共に、我が國の第一種重要港灣の中に數へられてゐ

國力の増進と貿易

る神戸港が、我が國力の發展上、如何に重大なる使命を帯びて居るかは、想像するに難くないであらう。

慶應三年十二月七日、兵庫開港以來年を閱することこゝに五十餘年、本港の貿易は我が國力の伸張と共に漸次盛大に赴き、殊に歐洲大戰勃發後は、世界の各地に、日本品の需要が急激に増したので、本邦の産業界は非常な勢を以て發展し、輸出入の貿易もまた前古未曾有の盛況を呈した。従つて我が神戸市は、一時黄金の雨を浴びるやうな好景氣であつた。平和克復後は不景氣が襲來して、大戰末期の好景氣の面影はとて見られないやうになつたが、それでも統計に現れた數字を見ると、大正十二年度に於ける神戸港の外國貿易額は、輸出三億五千七百餘萬圓、輸入十億七百餘萬圓、合計十三億六千五百餘萬圓で、十一年度に比較

大正十二年度に於ける貿易

すると、輸出に於て七千七百餘萬圓、輸入では一億五千餘萬圓の

増加を示してゐる。

輸出品中の主なものは、生絲、生金巾及びビシーチング綿織絲、羽二重綿、メリヤス肌衣、ボンジー及び富士絹綾木綿マツチ等で、輸入品の主なものは、練綿、毛織絲、紡績機械、機械類、羊毛、鐵板、油槽、ラシヤ木材及び板、硫酸アンモンニヤ、生ゴム、米、小麥、鐵條及び竿等である。さうしてその取引先は、アジャ、ヤ、ヨーロッパ、北アメリカ等、世界の各大洲に互

つて、殆どすべての國を網羅して居る。中にもアメリカ合衆國

輸出品  
輸入品

神戸主要輸港  
出入品  
価格

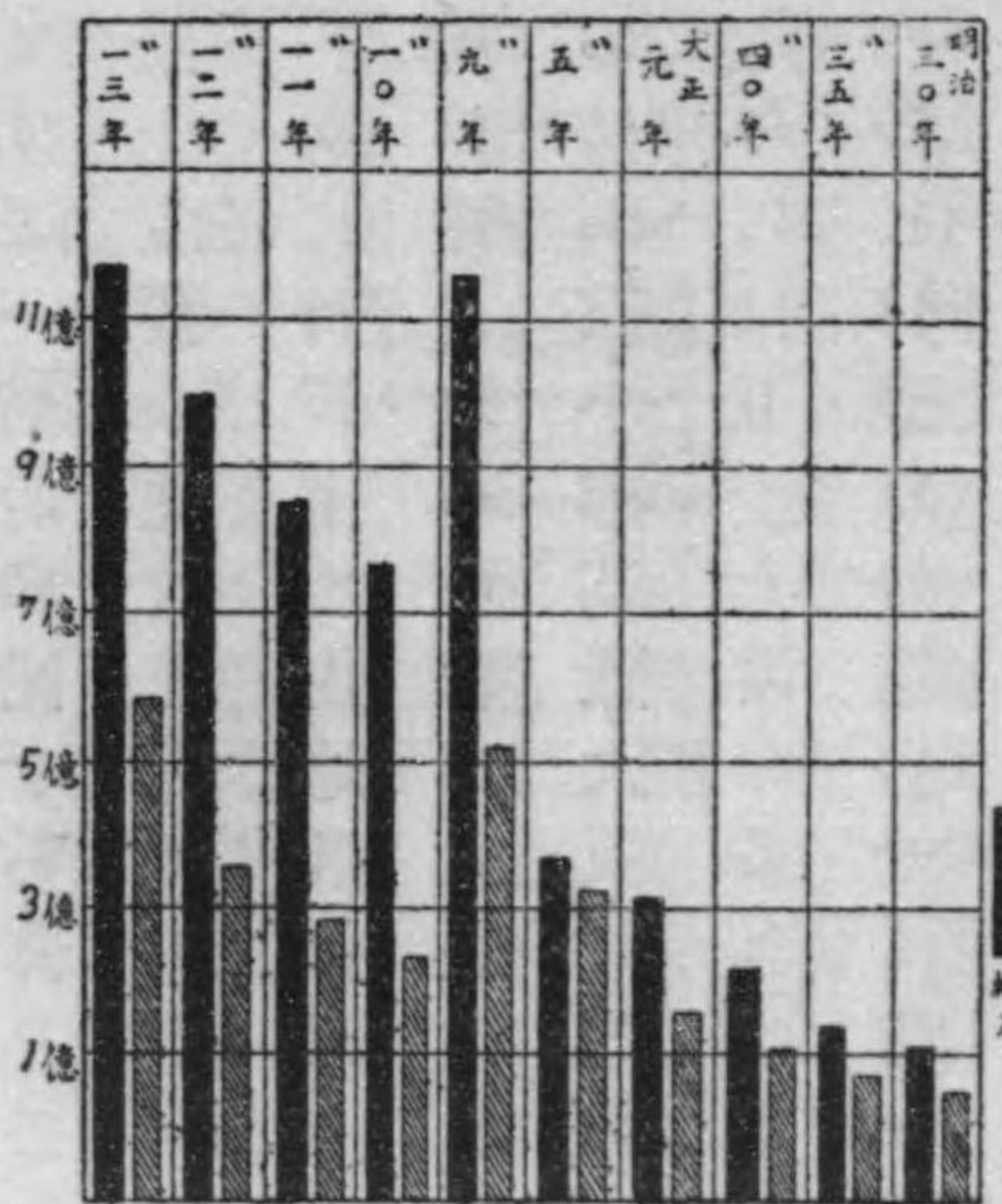
取引先

|        |     |        |      |      |      |      |      |      |     |     |     |      |     |     |     |     |       |     |     |        |     |     |     |     |     |     |
|--------|-----|--------|------|------|------|------|------|------|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 輸<br>出 | 生絲  | 綿織絲    | 羽二重綿 | メリヤス | 肌衣   | ボンジー | 富士絹綾 | 木綿   | マツチ | 練綿  | 毛織絲 | 紡績機械 | 機械類 | 羊毛  | 鐵板  | 油槽  | ラシヤ木材 | 板   | 硫酸  | アンモンニヤ | 生ゴム | 米   | 小麥  | 鐵條  | 竿等  |     |
|        | 生金巾 | ビシーチング | 綿織絲  | 羽二重綿 | メリヤス | 肌衣   | ボンジー | 富士絹綾 | 木綿  | 練綿  | 毛織絲 | 紡績機械 | 機械類 | 羊毛  | 鐵板  | 油槽  | ラシヤ木材 | 板   | 硫酸  | アンモンニヤ | 生ゴム | 米   | 小麥  | 鐵條  | 竿等  |     |
|        | ... | ...    | ...  | ...  | ...  | ...  | ...  | ...  | ... | ... | ... | ...  | ... | ... | ... | ... | ...   | ... | ... | ...    | ... | ... | ... | ... | ... |     |
|        | ... | ...    | ...  | ...  | ...  | ...  | ...  | ...  | ... | ... | ... | ...  | ... | ... | ... | ... | ...   | ... | ... | ...    | ... | ... | ... | ... | ... | ... |
|        | ... | ...    | ...  | ...  | ...  | ...  | ...  | ...  | ... | ... | ... | ...  | ... | ... | ... | ... | ...   | ... | ... | ...    | ... | ... | ... | ... | ... | ... |
|        | ... | ...    | ...  | ...  | ...  | ...  | ...  | ...  | ... | ... | ... | ...  | ... | ... | ... | ... | ...   | ... | ... | ...    | ... | ... | ... | ... | ... | ... |

2十萬圓 4十萬圓 6十萬圓 8十萬圓 1億圓

支那、イギリス、オーストラリアは最も大切な取引國である。

神戸港外國貿易額の全國外國貿易額に對する歩合について、



最近十箇年間の統計を見ると、輸出は大正六年の二割八分八厘を最高、大正十年の一割八分三厘を最低とし、輸入は大正十二年の五割一分を最高、大正八年の四割三分六厘を最低として、いづれもその中間を上下してゐる。輸出入を合計した歩

合は、大てい三割六分以上である。最後に本港の貿易上特筆すべきことは、開港初期以來一時絶えてゐた生糸が、大正十二年か

ら再び輸出貿易品中に異彩を放つやうになつた事である。その輸出數量は、横濱に比べて甚だ僅少であるが、今後生糸貿易に要する一切の機關を整備して、その發達を助長すれば、本港輸出品中主要の地位を占めるやうになることは疑がない。

次に神戸港と内地沿岸諸港との取引關係を見るに、大正四年、神戸港と取引關係ある内地諸港中で、その金額百萬圓以上のものは函館・小樽・基隆・大阪・横濱等二十九港に過ぎなかつたが、大正七年には五十七港の多きに及んだ。従つて貨物の數量も大正四年には、到着發送合せて僅かに二億八千餘萬圓に過ぎなかつたものが、大正七年には十一億六千餘萬圓に上つてゐる。さうして神戸と取引關係ある港は、大正七年には、山陽道沿岸で百淡路沿岸で三十三、四國沿岸で二十二、北陸及び山陰沿岸で二十五、

對内商港  
としての  
地位

九州・琉球沿岸で七十四、北海道樺太沿岸で六十、臺灣澎湖島沿岸で十四、その他を合せて總計四百六十二港の多きに上つてゐる。最近財界不況の爲に取引額は減少してゐるが、それでも穀物及び種子・飲食物・金屬及び同製品・藥品及び染料・塗料・車輛・時計等各種の商品を通じて五億圓を下るやうな事はなく、對内商港としても全國屈指の地位を失はないのである。

市内に於て商業に従事するものゝ戸數は、約八萬であつて、物品販賣業がその過半を占めてゐる。これに次ぐのは料理・飲食その他の警察取締營業、次に問屋業・仲立業・周旋業・銀行業・保險業等である。

市場は現在魚類・蔬菜・果實・家畜・古着・古道具・米穀・肥料・雜貨等各種を通じて五十餘あつて、それ〴〵重要な賣買機關として活動

大正十一年に  
は十二億六  
千九百萬圓  
の取引があ  
つた  
商業戸數

市場



してゐる。

株式會社神戸取引所は、楠町七丁目にあつて、取引員に米有價證券の賣買取引をさせてゐる。一般市場に於ける相場の安定、需要供給の調節等に貢獻する處が多い。

神戸取引所  
神戸商業會議所

神戸商業會議所は、明治十一年に設けられた兵庫商法會議所に端を發するもので、常に内外の商況を明かにし、商人間の紛議を和解し、當局の諮問しもんに應じ、或は進んで建議をなし、また内外商人の爲に賣買紹介の任に當る等、専ら當市に於ける商工貿易の振興機關として力を盡くしてゐる。

商業會社

商業の經營は多く個人的で、會社事業として經營されてゐるものは極めて少い。しかも商事會社の數は、工業會社や運輸會社に比べると遙かに多く、大正十一年末には本支店を合せて三

百十七もあつた。

銀行

商業と最も密接な關係を持つてゐる金融機關は銀行である。大正十一年末の統計によると、本市には兵庫縣農工銀行六十五銀行、神戸岡崎銀行、三菱銀行、神戸支店、第一銀行、兵庫支店、十五銀行、神戸支店等、本支店合せて九十二の銀行があつた。さうしてこれらの銀行が大正十一年中に取扱つた金高は、出入合せて四百五十五億六千萬圓の巨額に達してゐる。また同年中、神戸手形交換所に於ける手形の交換金額は、四十五億七千八百餘圓であつて、その枚數は百七十九萬五千四百餘枚であつた。

手形交換

## 市民の修養

## 三七、眞の文化生活

神戸市民  
の文化生活

新日本の大立關たる我が若き神戸市の市民は何時までも舊き因襲や習慣に捉はれて、能率の低い不合理な生活を營むべきではありません。早く新時代の新精神を理解し、その生活を現代の進歩した學術に照して、出来るだけ合理的かつ經濟的なものに改め、もつと文化的な生活を營みうるやうに努力しなければなりません。

世には文化生活を以て、流行を逐ふ生活や華美な生活であるかの如く考へてゐる人も少くありません。しかしこれは大なる誤解であつて、これらにはむしろ文化生活の敵であります。

もしも衣服調度などに世の流行を逐ひ、音楽・舞踏等の享樂に耽るのが文化生活であるとするならば、文化生活は我々の精神を墮落させ、身體を薄弱にし、社會の風紀を亂すやうな結果を來すものです。文化に貢献するどころか、却つて眞の文化を破壊します。文化生活の美名の下に、奢侈逸樂の生活、輕佻浮華の行動をなすものに對しては、私達は鼓を鳴らして、大いにこれを責めなければなりません。

眞の文化生活は理想を追求する生活です。理想とは、眞に生きがひのある生活をするために、人として誰でも追求せねばならぬ最高至上の目的を意味します。道德から言へば善がその理想です。學問から言へば眞がその理想です。藝術から言へ

道義的生  
活

ば美、宗教から言へば聖がその理想です。これらの理想を追求し、あくまでもその實現を期するやうに努力する生活が即ち眞の文化生活であります。故に眞の文化生活は、不道德の生活ではなくして、極めて高尚な道德的生活でなければなりません。我々は各自社會の一員として、身を修め、家を齊へ、義務を盡くし、秩序を守り、お互に人格を尊重し合はなければなりません。私益を貪り、私欲に耽り、放縱な言動を敢へてする生活は、文化生活とは相容れないものであります。

合理的な  
生活

また眞の文化生活は、合理的な生活でなければなりません。合理的な生活と言ふのは、科學の示す所に従つて、その生活を學術化し、合理化して、有害無効な因襲や迷信をさけることです。現代の進歩した科學を無視し、その生活に何等の改善を加へず、無

藝術を樂  
しむ生活

駄と缺點とをそのままにしておくのは、文化生活に逆行するものであります。飲酒に耽つたり、衣服に贅を盡くしたり、或は時間を正しく守らないやうな生活は、もちろん不合理な生活であり、従つて文化生活ではありません。

眞の文化生活はまた藝術を樂む生活であります。劇しい生活戰の餘暇を以て、文學を味ひ、書畫を樂しみ、音樂を聽き、劇を觀、これによつて慰と力と救とを得ようとする生活であります。

單に物質的欲望の満足に甘んずる生活であつてはなりません。眞の文化生活はまた信仰の生活であります。人間は相對的で有限なものです。誰しもこれについて限りなき淋しさと不安とを感ずるでせう。それ故、どうかして絶對無限の力に合一し、永遠の眞生命を得たいと願ふ心が起るにちがひありません。

信仰の生  
活

この願を満たし、神や佛を信仰して安心立命を得ようとするのが信仰生活であります。随つて文化生活は眞面目であり、嚴肅であり、喜と望とに輝いたものであります。

かくの如く文化生活は眞善美・聖の理想を追求して、自己の弱點や社會の缺點と戦ひ、斷えず修養し向上せんとする連續的奮闘の生活であります。我々はこの眞義に觸れた文化生活を生活することに依つて、市民各自の生活を向上させると共に、我が神戸市全體を健全な美しい大文化都市たらしむべく努力しなければなりません。

### 三八、剛健質實の氣風

我が國武士道の權化として一世に仰がれた乃木大將は、純忠

連續的奮  
闘の生活

乃木大將  
の一例

青年への  
訓諭

至誠の士であると同時に、また剛健質實の人であつた。大將は奢侈と柔弱とを蛇蝎の如く忌み嫌はれ、常に青年に對して、

「近時、人の心がだん／＼輕薄になり、情弱に傾いて來たのは、實に嘆かましい事である。國家の元氣は國民精神の剛健によつて維持されるものであるのに、國民の精神がかく情弱に流れては、國家の前途は誠に寒心に堪へない。前途多望の青年は決して浮華輕佻の惡風に染まないうやうに、どこまでも正善を愛し、邪惡を憎み、その正善と認めたものは萬難を排して敢行し、邪惡と知つた事は斷乎として排斥する覺悟がなくてはならぬ。そのためには常に身體を鍛鍊し、勇氣を養ひ、質素を旨とし、困苦缺乏に堪へる習慣を養成する事が肝要である。」と諭された。

剛健質實の氣風